



IGFA アングリング・ルール

IGFA ANGLING RULES

このルールは、良識ある健全な釣りの普及を目指し、世界における釣魚の記録保存を可能とする統一基準となり、トーナメントや釣りの各種大会で採用できる基本的なガイドラインを提供するために、インターナショナル・ゲームフィッシュ協会 (IGFA) によって定められたものである。

「釣り」とは、ロッド、リール、ライン、フックのすべてを用いて魚を捕獲すること、あるいはそれを目的とした行為と定義される。ただし規則ではコントロールできない釣りの側面というものはたしかに存在する。どのようなルールを定めようと、フックにかかった魚がすばらしいファイトをするかどうかは分からず、世界記録が樹立されたからといって、その釣りが難しかったかどうかは判断できない。魚がファイトしなかったキャッチ、魚がファイトする機会を与えなかったキャッチは、アングラーの名誉とはならない。それが偉業であったかどうかは、当事者たるアングラー本人のみが正しく評価できるものであろう。

IGFAの認定する世界記録の対象となりうるのは、IGFAルールに従って捕獲された魚のみである。以下は、海と淡水の釣り、オールタックル・レンジスおよびフライフィッシングに関連するIGFAルールである。

☆当ルールブック発行後に追加・訂正された事項については、JGFA NEWS の最新号あるいは JGFA ホームページの記述を参照のこと。

海と淡水のフィッシング・ルール

(オールタックル・レンジスおよびフライフィッシング・ルールも参照)

● 釣具の規定

A. ラインおよびバックング

1. 使用するフィッシングラインは、モノフィラメント、マルチフィラメント(編み糸)、または、レッドコア・マルチフィラメントのいずれかに限る。ラインクラスについては、「世界記録の必要事項」を参照のこと。
2. ワイヤーラインの使用は禁止される。
3. バックングの使用は許可される。
4. 使用するラインのクラスは、ダブルライン、リーダーないしフックに接続された先端部分5メートルの破断強度で決定される。このセクションは同一素材のシングルラインであること。

B. ダブルライン

ダブルラインの使用は必須ではないが、使用する場合は以下のとおりとする。

1. ダブルラインは、フィッシングラインそのものをダブルにしたものでなければならない。
2. ダブルラインの長さは、ダブルを作っている部分(ノット、編み込み、ロールまたはスプライスなど)の端から、リーダー、ルアー、またはフックなどを取り付けるために使われるノット、スプライス、スナップ、スイベル等の用具のいちばん端までと定義する。

【海水魚】

ダブルラインの長さは、10kg (20lb) 以下のすべてのラインクラスでは4.57m(15フィート)以内とし、ダブルラインとリーダーの合計長は6.1m(20フィート)以内であること。10kg (20lb) をこえるすべてのラインクラスでは、ダブルラインの長さを9.14m (30フィート) 以内とし、ダブルラインとリーダーの合計長は12.19m (40フィート) 以内とする。

【淡水魚】

すべてのラインクラスにおいてリーダーは1.82m (6フィート) 以内とし、リーダーとダブルラインの合計長は3.04m(10フィート) 以内であること。

C. リーダー

リーダーの使用は必須ではないが、使用する場合には以下のとおりとする。

リーダーの長さとは、ルアー、フック、または他の用具を含めた全体の長さであり、末端に位置するフックのベンドから測定する。リーダーはスナップ、ノット、スプライス、スイベルまたは他の用具でラインに接続されていること。リーダーを握るための用具類を装着してはならない。リーダーの材質および強度については制限しない。

【海水魚】

リーダーの長さは、10kg (20lb) 以下のすべてのラインクラスでは4.57m(15フィート)以内とし、リーダーとダブルラインの合計長は6.1m (20フィート) 以内でなければならない。10kg (20lb) をこえるすべてのラインクラスは、リーダーの長さを9.14m (30フィート) 以内とし、リーダーとダブルラインの合計長は12.19m (40フィート) 以内であること。

【淡水魚】

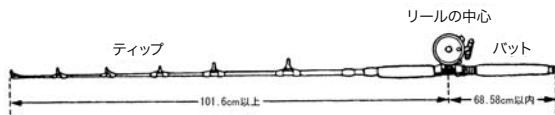
すべてのラインクラスにおいてリーダーは1.82m (6フィート) 以内とし、リーダーとダブルラインの合計長は3.04m(10フィート) 以内であること。

D. ロッド

1. ロッドは、アマチュアとしての釣りの倫理と慣習に従って作られたものでなければならない。ロッドの選択においては相当の自由度が許容されているが、釣り人に不当な利益を与えるような

ものは失格となる。この規定は、慣習に従わないロッドの使用を排除するためのものである。

2. ロッドティップの長さは101.6cm (40インチ)以上、ロッドバットの長さは68.58cm (27インチ)以内であること。これらの長さは、ロッドに装着したリールの中心点の真下からの直線距離を測るものとする。カーブドバットは、直線距離で末端までの距離を測る。ロッドバットをジンバルに装着したとき、リールシートからジンバルのピボットポイントまでの距離は68.58cm (27インチ)以内であること。(ただしこの規定はサーフ・キャスティング・ロッドには適用しない。)



E. リール

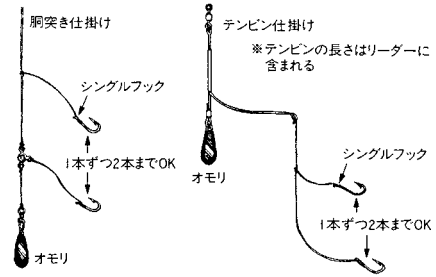
1. リールは、アマチュアとしての釣りの倫理と慣習に従って作られたものでなければならない。
2. 動力を使用するリールは、すべて禁じられる。これには、モーター、油圧、または電気を使用するリールが含まれる。また、釣り人に不当な利益を与える付属品を使用してはならない。
3. ラチェットハンドル・リール（スプール逆転機能のないリール）は禁止する。
4. 両手で同時に回せるように設計されたリールは禁止する。

F. ベイトフィッシング(エサ釣り)に使用するフック

1. 生き餌、または死んだ餌で釣る時は、**シングルフック (1本バリ)**を2本まで使用することができる。この場合、両方のフックは餌の中に埋め込むか、餌にしっかりと固定しなければならない。2本のフックのアイの間隔は、フックの長さ(使用されているフックの大きい方の全長)以上なければいけないが、45.72cm (18インチ)以上離してはならない。例外として、フックの先端にもう1本のフックのアイを通すことは認められる。フックの後ろに餌あるいは餌とルアーの組み合わせを装着する場合、その先端とフックのバンド後端との間隔はフックの長さぶんを超えてはならない。



2. ダングリングフック*およびスインギングフック*の類を使用してはならない。ダブルやトレブルフック (3本イカリバリ)の使用も禁止される。
3. ボトムフィッシングの場合は、シングルフックを2本まで使用することができる。ただし、2本のフックは、別々のリーダーまたはドロップ*で取り付けなければならない。2本のフックは、それぞれの餌に埋め込み、一方のフックにかかった魚が他方のフックにかからないよう、充分に離しておくこと。
4. フックを2本使用して釣った魚を記録申請する時は、仕掛けのフック配列が分かる写真、またはスケッチを添付すること。



G. フックおよびルアー

1. スカートまたはトレーリング材*を取り付けたルアーには、シングルフックを2本まで、ラインないしリーダーに取り付けて使用することができる。フックは別々に取り付ける必要はない。この場合、2本のフックのアイの間隔は、フックの長さ(使用されているフックの大きい方の全長)以上なければいけないが、30.48cm (12インチ)以上離してはならない。例外として、フックの先端にもう1本のフックのアイを通すのはかまわない。トレーリングフック(後方のフック)は、ルアーのスカートから全長がはみ出してはならない。フックの後ろにルアー、あるいは餌とルアーの組み合わせを装着する場合、その先端とフックのバンド後端との間隔はフックの長さぶんを超えてはならない。**記録申請時には、フックの配列が分かる写真、またはスケッチが必要である。**
2. ギャングフックは、専用に設計されたプラグまたはルアーに取り付けるときにだけ使用が許される。ルアーに取り付けたギャングフックは、自由に振れ動かなければならない。使用するギャングフックは、3本までに限られる(シングル、ダブル、トレブルのいずれか、または組み合わせ)。ギャングフックに餌を取り付けることはできない。**記録申請時にはルアーの写真もしくはスケッチを添付すること。**もしそれが充分でない時はルアーそのものの提出が要求されることもある。
3. モノフィラメント、マルチフィラメント、ワイヤなどの「リード」を介してルアーに接続される、いわゆるアシストフックの類のシングルフックに関しては、以下の規定を遵守すること：スカートなしのルアーにアシストフックを使用する場合、リードの長さは使用するフック長の1.5倍を超えてはならない。またフックのバンド位置は、ルアーと接続される最近点から4インチ (101mm)を超えてはならない。アシストフックとして、ダブルフックやトレブルフックを使うことはできない。また、アシストフックはシングルフックとし、2本のシングルフックをタンデムにして使うことはできない。プラグの場合と同様、1つのルアーに対して最大3本のアシストフックを使うことができる。
4. フックのついたルアーは、1度に1つしか使用できない。

H. その他の用具

1. ファイティングチェアには、魚とのファイトを有利に導く機械的推進装置を取り付けてはならない。
2. ジンバルは、垂直面のみに動くものを含め、自由にスイングすること。魚とファイトしている時、釣り人の負担を軽減したり、休息を可能とするジンバルは禁じられている。
3. 魚を取り込む時に使用するギャフおよびネットは、**全長が2.44m(8フィート)以内であること。**フライングギャフ、脱着式

ギャフを使用する場合、**ギャフロープは 9.14m(30フィート)以内であること**。ロープは、ヘッドに取り付けられた点から末端までを測るものとする。計測するのは有効長のみで、結び目の余りは長さに含まない。ヘッドの固定されたギャフを使用する場合も同じ制限が適用され、ギャフロープはギャフフックの同じ位置から測る。ギャフは、シングルフックだけが使用できる。モリまたはヤスを使用してはいけない。テイルロープは9.14m (30フィート)までとする(橋、栈橋、その他の高い台や構造物から釣る時は、この長さ制限は適用されない)。

- エンタングリング(魚を絡め取る)用具は、フックの有無にかかわらず禁じられている。ベイトイングまたはフッキング、ファイティング、ランディングを含むいかなる目的のためにも使用してはいけない。
- アウトリガー、ダウンリガー、スプレッダーバーおよびカイトの使用は許可されるが、条件として、それらに装着されたスナップなどのリリース器具に、フィッシングラインが直接的あるいはゴムバンドなどを介して間接的に固定されていなければならない。直接あるいは間接を問わず、リリース器具にリーダーまたはダブルラインを固定することは禁じられる。スプレッダーバーはティーザーとしての使用も許される。
- ディジーチェーン、バード、フロート(ウキ)もしくはそれらに類した用具は使用可であるが、魚が通常備える遊泳力やファイトする能力を妨げるもの、アングラーやクルーによる魚とのファイトや取り込みに有利となるものなどは、いかなる場合も使用が許されない。
- セーフティーライン[落下防止のための尻手(シッテ)ロープ]は、魚とのファイトにおいて釣り人に有利に作用しないものに限る、ロッド、リールあるいはハーネスに取り付けてもよい。

● 釣りの規定

- 魚がベイトまたはルアーにストライクしたら、**釣り人は他からの助けを借りることなく魚をフックにかけ、ファイトし、取り込まなければならない**。ただし、本ルール内の規定で認められたものは除く。
- ロッドをホルダーで固定している時に、魚がベイトまたはルアーにストライクしたら、釣り人はできるだけ速やかにロッドをホルダーから外さなければならない。この規定の意図は、**釣り人がロッドを持って自らストライクし、そしてフックをかけることにある**。
- 一人の釣り人が何本かのラインを出していて、同時に多数の魚がかかった時は、最初にファイトした魚だけが記録申請の対象となる。
- ダブルラインを使用するのは自由であるが、**ファイトの大部分はシングルラインで行うことが前提**である。ダブルラインやリーダーだけでファイトの大部分を行ってはならない。
- ロッドベルトやウエストジンの使用は認められる。
- ハーネスは、ロッドまたはリールに取り付けてもよいが、ファイティングチェアに取り付けてはならない。ハーネスは、ファイティング中にアングラー以外の人が交換、調整を行うことができる。
- ボートから釣る時は、リーダーが同乗者の手に掴めるところにくるか、リーダーの端がロッドティップまで巻き上げられた時、1人

または複数の人がリーダーを持つことができる。岸釣りまたはウェーディングの釣りをしているアングラーの取り込みを助ける人は、リーダーを掴む、ネットを掬う、あるいはギャフを掛ける際、アングラーからロッド1本ぶん以内の距離にいないなければならない。

- リーダーを持っている人の他に、1人またはそれ以上の人がギャフを使用してもよい。魚にギャフをかける時、ギャフのハンドルは手に持っていないなければならない。
- 釣具と釣りに関する規定は、魚の検量が終わるまで適用される。

● 失格となる行為

- 前述の、釣具または釣りの規定に違反する行為。
- 魚がヒットしてからファイト中、そして取り込みないしリリースが完了するまで、**釣り人でない人が、ロッド、リール、およびライン(ダブルラインも含む)に、直接または間接的に触れることはできない**。本ルールで認められたこと以外の手助けは、すべて禁止である。ラインがロッドガイドを通る時に障害となるもの(寄せ餌、浮子を取り付けるためのライン、ゴムバンドなど)を取りのぞく際にも、ラインに手や体の一部が触れてはならない。アングラー以外がラインに触ることは、いかなる場合も禁止される。
- 魚とのファイト中にロッドホルダーを使う、船べりやその他の物体にロッドをもたせ掛けたりする等の行為は禁止される**。
- ラインを手繰って魚を取り込む行為や手釣りは禁止されている。いかなる方法であっても、魚を保持したり引き上げておくために、リーダーまたはラインにハンドラインやロープを取り付けてはならない。
- サメやオヒョウを含め、いかなる魚の取り込みにおいても、銃で撃ったり、モリやヤスで突いてはならない。
- トローリングまたはキャストイング用のルアーに使われるヘアーまたはポークリンドの他は、**哺乳動物の肉、血、皮またはその他の部分をチャム(寄せ餌)またはベイトとして使用してはならない**。
- 魚が正常に泳ぐ能力を奪うために、ボートや道具を使用して魚を浜に追い上げたり、浅瀬に追い込んだりしてはならない。
- 魚がかかってファイトしている時に、ロッドまたはリールを交換してはならない。
- 魚がかかってファイトしている時に、ラインをつないだり、取り除いたり、足したりしてはならない。
- 故意にファウルフッキング*をしてはならない。
- ダブルライン全体がまったくロッドティップから出ない方法で魚を釣ってはならない。
- 法律・規則で禁止されている種類や大きさのベイトを使用してはならない。
- 魚を保持したり引き上げるため、釣り人のラインまたはリーダーをボートまたは他の物体に取り付けてはならない。
- 取り込み直前に逃げた魚を、当ルールに定められた以外の方法で再捕獲してはならない。
- 魚とのファイトを助ける、あるいはかかった力を逃がすようなやり方でアングラーを支えたり、触ったりしてはならない。ただし、転倒を避けるために短時間だけ触る、支えるなどの行為は許される。

● 失格となる状況

1. ロッドが最低寸法より短くなったり、その性能をひどく減じるような方法で折れた時。
2. 取り込みの前にサメなどの魚または哺乳動物などにかまれた、プロペラに当たったなどの理由で、魚の肉が削げたり、体に傷がついた場合(リーダーまたはラインによる傷、引っかき傷、古い回復した傷跡、再生による体型の変形などは失格する傷とはみなされない)。魚のすべての損傷は、写真にはっきり示し、充分な説明を記入した報告書を記録申請に添付しなければならない。
3. 一尾の魚が複数のラインにかかった、あるいは絡んだ時。

*印を付けた用語について

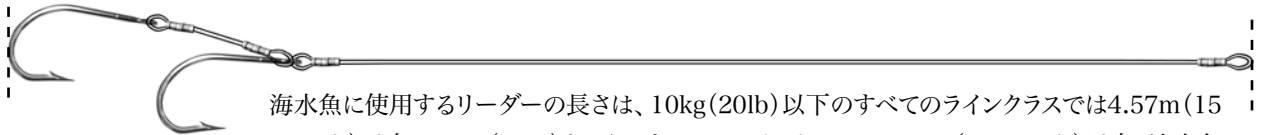
ダングリングフック、スイングフック	セカンドリーダーに付けられる、スレで魚を引っかける目的で使用するフック
ドロップ	ラインにハリスを付ける際に作る枝輪
トレーリング材	ルアー・ヘッドに取り付けるスカート等と同じ
ギャングフック	3つ以上のポイントを備えたイカリ針のこと
ファウルフッキング	魚の口以外の部分にハリスを引っかけること



ダブルラインとリーダー図解



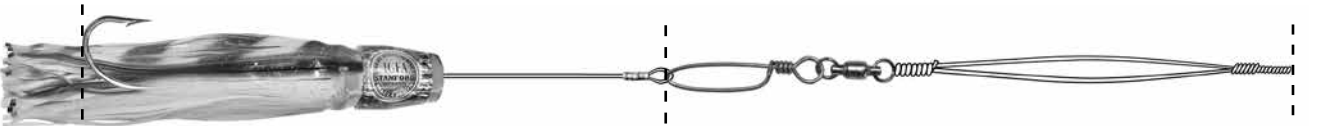
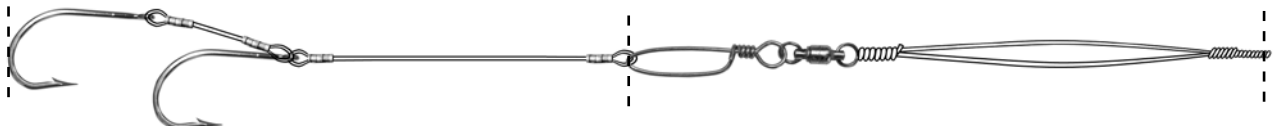
ダブルラインの長さは、ダブルを作っている部分(ノット、編み込み、ロールまたはスプライスなど)の端から、リーダー、ルアー、またはフックなどを取り付けるために使われるノット、スプライス、スナップ、スイベル等の用具のいちばん端までと定義する。ダブルラインは、フィッシングラインそのものをダブルにしたものでなければならない。海水魚用ダブルラインの長さは、10kg (20lb) 以下のすべてのラインクラスでは 4.57m (15フィート) 以内、10kg (20lb) をこえるすべてのラインクラスでは 9.14m (30フィート) 以内に制限される。淡水魚用ダブルラインの長さは、すべてのラインクラスにおいて1.82m (6フィート) 以内とする。



海水魚に使用するリーダーの長さは、10kg (20lb) 以下のすべてのラインクラスでは4.57m (15フィート) 以内、10kg (20lb) をこえるすべてのラインクラスは9.14m (30フィート) 以内。淡水魚用リーダーの長さは、すべてのラインクラスにおいて1.82m (6フィート) 以内とする。



リーダーの長さとは、ルアー、フック、または他の用具を含めた全体の長さで定義される。



ダブルラインとリーダーを合わせた長さは、海水魚の場合、10kg (20lb) 以下のすべてのラインクラスで6.1m (20フィート) 以内、10kg (20lb) をこえるすべてのラインクラスでは12.19m (40フィート) 以内とする。淡水魚の場合は、リーダーとダブルラインの合計長は3.04m (10フィート) 以内でなければならない。



フック配列の実例 (餌もしくはルアーを使用する場合)



2本のフックの間隔が、餌を使用する場合は45.72cm (18インチ) 以内、ルアーを使用する場合は30.48cm (12インチ) 以内であること。それ以上離れているなら失格。



2本のフック・アイは、互いにフックの長さ(使用されているフックの大きい方の全長)以上離れていて、セカンドフック(トレーリングフック)はスカートの中に収まっている。



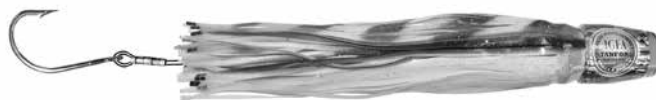
セカンドフック(トレーリングフック)が完全にスカートから出ているので失格。



フックはスカートの長さの中に収まっている。



餌、ルアーにかかわらず、2本のフック・アイは、互いにフックの長さ(使用されているフックの大きい方の全長)以上離れていなければならない。



シングルフックが、完全にスカートから出ている。



2本のフック・アイは、互いにフックの長さ(使用されているフックの大きい方の全長)以上離れていて、かつ餌釣り場合は45.72cm (18インチ) 以内、ルアーの場合は30.48cm (12インチ) 以内に収まっている。



セカンドフックが餌に完全に固定されておらず、ダングリングフックとなっている。



餌釣りおよびルアー釣りを問わず、フックの先端にもう1本のフックのアイを通すことは認められる。



両方のフックが完全に餌に固定されており、2本のフック・アイの間隔は45.72cm (18インチ) 以内に収まっている。

ギャフ



ギャフロープの有効長は9.14m (30フィート) 以内とする。



ギャフの全長は 2.44m (8フィート) 以内。



フック配列の実例 (アシストフックに関するガイド)

アシストフックとは、モノフィラメント、マルチフィラメント、ワイヤなどの「リード」を介してルアーに接続されるフックのこと。バーチカルジグの普及とともに広く使われるようになり、伝統的なトレブルフックの代替としても人気が高まっている。

近年まで、IGFAはルアーに使用するアシストフックに関する規定を持たなかったが、その普及を受け、以下を新たに定めることとした。モノフィラメント、マルチフィラメント、ワイヤなどの「リード」を介してルアーに接続される、いわゆるアシストフックの類のシングルフックに関しては、以下の規定を遵守すること：スカートなしのルアーにアシストフックを使用する場合、リード

の長さは使用するフック長の1.5倍を超えてはならない。またフックのバンド位置は、ルアーと接続される最近点から4インチ(101mm)を超えてはならない。アシストフックとして、ダブルフックやトレブルフックを使うことはできない。

この新しいルールにより、アシストフックの適切な使用が広まることを期待する。プラグにアシストフックを使用すると、伝統的なダブルフック、トレブルフックなどよりも魚へのダメージがはるかに少なくなると考えられている。



リードの長さはフック長の1.5倍以内(フックのアイからルアーに装着される最近点までを測定)。



アシストフックは、複数が使用可能。リードをつけたダブルやトレブルフックをアシストフックとして使用することは禁止。



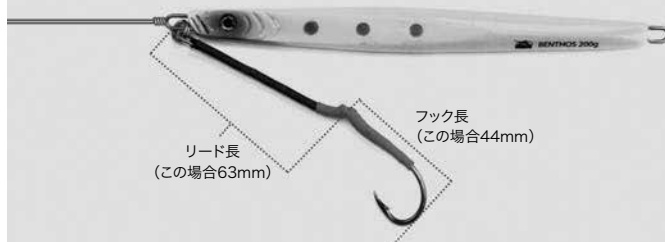
アシストフックは、ルアーのどちら側につけても可。



アシストフックは、スカートつきのルアー以外、どのようなルアーにも装着できる。



リード長がフック長の1.5倍を超えている(フックのアイからルアーに装着される最近点までを測定)。



フックのバンドと、リードがルアーに装着される最近点の間の長さが101mm(4インチ)を超えている。

フライフィッシング・ルール

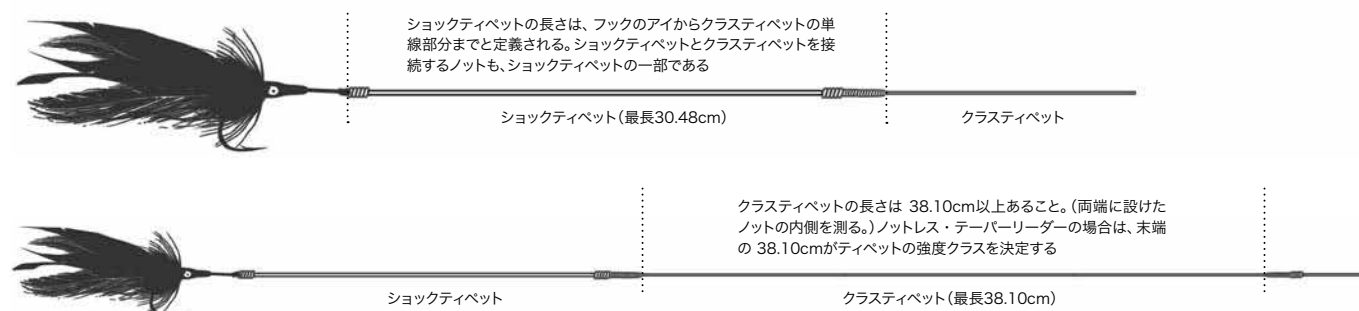
● 釣具の規定

A. ライン

フライラインおよびバックリングは、素材および強度について制限しない。

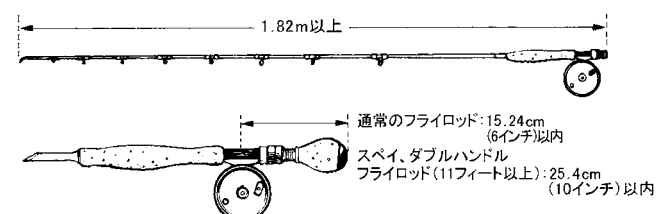
B. リーダー

リーダーは、フライフィッシングの慣習として一般的に使用されているものとする。リーダーにはクラスティペットおよびショックティペット（後者の使用は任意）が含まれる。フライラインとクラスティペットの間のバットおよびテーパー部分は、リーダーの一部とみなされ、その長さ、材質および強度に関する制限はない。クラスティペットは非金属性の材質とし、フライまたはショックティペットに直接取り付けなければならない。クラスティペットの長さは38.10cm（15インチ）以上とする（両端に設けたノットの内側を測定）。ノットレス・テーパーリーダーの場合は、末端の38.10cm（15インチ）がティペットのクラスを決定する。クラスティペットに長さの上限はない。クラスティペットの先にショックティペットを付け加えて、フライを結んでもよい。ショックティペットの材質および強度については制限しないが、30.48cm（12インチ）以内とする。ショックティペットの長さは、フックのアイからクラスティペットのシングル部分までを測る（クラスティペットに接続するためのノット部分もショックティペットとみなされる）。タンデムフックを使用するフライの場合、ショックティペットの長さは先頭のフックのアイから測る。



C. ロッド

素材と継数は自由であるが、ロッドはフライフィッシングの一般的な慣習と良識に従って作られたものであること。ロッドの全長は1.82m（6フィート）以上とする。アングラーに不当な利益を与えるようなロッドは失格となる。エクステンション・バットの長さは、リールフットの中央から測定して15.24cm（6インチ）以内。ただし全長3.33m（11フィート）を越えるスベイロッド、ダブルハンドルフライロッドの場合、エクステンション・バットの長さは25.4cm（10インチ）以内とする。

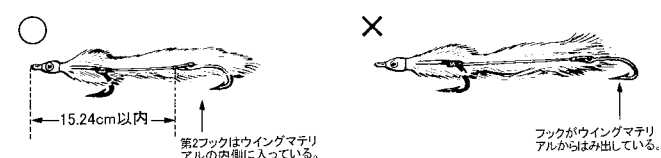


D. リール

リールは、フライフィッシング用として専用設計されたものであること。ギヤ比およびドラッグ機構について制限はないが、釣り人が不当な利益を受けると考えられるものは使用できない。電動リール、電子機構を用いたリールは禁止される。

E. フック

フライには、シングルまたはダブルフック、もしくは直列（タンデム）にした2本のシングルフックを使うことができる。タンデム・フライの第2フックは、ウイング材からはみ出してはならない。2つのアイの間隔は、最大15.24cm（6インチ）とする。トレブルフックは使用できない。



F. フライ

一般的に認められたタイプであること。これにはストリーマー、バックテイル、チューブフライ、ウェットフライ、ドライフライ、ニンフ、ポッパーおよびバグなどが含まれる。ルアー、生餌または保存したベイト（たとえば魚皮など）を単独で使用したり、フライに取り付けて使用することはかたく禁止する。フライは1つのみ使用でき、ド

ロップーフライは禁止する。ルアーがフライロッドでキャストできるという事実があっても、フライの定義にかなう証拠とはならない。魚を絡ませたり、ファウルフッキングするために設計されたいかなるフライの使用も禁じられている。天然もしくは人工の匂いをフライにつけることはできない。匂い付けされたマテリアルの使用も禁止する。

G. ギャフとネット

魚を取り込む時に使われるギャフおよびネットは、全長が2.44m（8フィート）以下とする。（橋、栈橋、またはその他の高い構造物の上から釣る時は、この長さの制限は適用されない）。フライングギャフの使用は禁止する。ギャフはシングルフックだけが認められ、モリまたはヤスを取り付けることはできない。ロープをはじめいかなる延長物も、ギャフに取り付けることは禁止されている。

● 釣りの規定

1. 釣り人は、他からの手助けを受けることなくキャストし、フックをかけ、ファイトして、魚をギャフないしネットまで引き寄せなければならない。釣り人が魚とファイトしているとき、他の人はギャフ掛けやネット入れの目的でリーダーを持つ行為以外の手助けをしてはならないし、釣り具のどの部分にも触れられない。岸釣りまたはウエーディングの釣りをしているアングラーの取り込みを助ける人は、リーダーを掴む、ネットで掬う、あるいはギャフを掛ける際、アングラーからロッド1本ぶん以内の距離にいないなければならない。
2. キャスティングやリトリートは、通常の慣習に則り、一般的に受け入れられた方法で行わなければならない。キャスティングの要件は、フライの重さでラインを送り出すのではなく、ラインの重さでフライを飛ばすことである。動いているボートの後方にフライを流す事は許されない。魚にフライをキャストする時、およびリトリートの間は、ボートのギヤを完全に外し、ニュートラルか停止の位置にしておかなければならない。リールから事前に出しておけるラインの長さは、フライから測定して36.57m (120フィート)以内とする。
3. 魚がフックにかかった時にエクステンション・バットを追加すること以外は、タックルにいかなる変更も加えてはならない。
4. 魚は、使用しているフライのフックにかけなければならない。小さい魚がフライにかかり、それを大きい魚が呑み込んでしまった場合、大きい魚は記録として認められない。
5. 魚を取り込むために、1人以上の人がギャフ掛けやネット入れの手助けをしてもよい。
6. 釣具と釣りに関する規定は、魚の検量が終わるまで適用される。

● 失格となる行為・状況

1. これまで述べてきた、釣具または釣りの規定に違反する行為。
2. 魚がヒットしてからファイト中、そして取り込みないしリリースが完了するまで、釣り人でない人が、ロッド、リール、およびライン(ダブルラインも含む)に、直接または間接的に触れることはできない。本ルールで認められたこと以外の手助けは、すべて禁

- 止である。ラインがロッドガイドを通る時に障害となるもの(寄せ餌、浮子を取り付けるためのライン、ゴムバンドなど)を取りのぞく際にも、ラインに手や体の一部が触れてはならない。アングラー以外がラインに触ることは、いかなる場合も禁止される。
3. 魚とのファイト中に、船べりやその他の物体にロッドをもたせ掛けたりする等の行為は禁止される。
4. ラインを手繰って魚を取り込む行為や手釣りは禁止されている。いかなる方法であっても、魚を保持したり引き上げておくために、リーダーまたはラインにハンドラインやロープを取り付けてならない。
5. 故意にファウルフッキング*をしてはいけない。
6. サメやオヒョウを含め、いかなる魚の取り込みにおいて、銃で撃ったり、モリやヤスで突いてはならない。
7. ホ乳動物の肉、血、皮またはその他の部分をチャム(寄せ餌)として使用してはならない。
8. 魚が正常に泳ぐ能力を奪うために、ボートや道具を使用して魚を浜に追い上げたり、浅瀬に追い込んだりしてはならない。
9. 魚を保持したり引き上げるため、釣り人のラインまたはリーダーをボートまたは他の物体に取り付けてはならない。
10. 取り込み直前に逃げた魚を、当ルールに定められた以外の方法で再捕獲してはならない。
11. ロッドが最低寸法より短くなったり、その性能をひどく減じるような方法で折れた時は失格となる。
12. 1尾の魚が複数のラインにかかった、あるいは絡んだ時は失格となる。
13. 取り込みの前にサメなどの魚またはホ乳動物などにかまれた、プロペラに当たったなどの理由で、釣り上げた魚の肉が削げたり、体に傷がついた場合(リーダーまたはラインによる傷、引っかかり傷、古い回復した傷跡、再生による体型の変形などは失格する傷とはみなされない)。魚のすべての損傷は、写真にはっきり示し、十分な説明を記入した報告書を記録申請に添付しなければならない。
14. 魚とのファイトを助ける、あるいはかかった力を逃がすようなやり方でアングラーを支えたり、触ったりしてはならない。ただし、転倒を避けるために短時間だけ触る、支えるなどの行為は許される。

オールタックル・レンジ・レコードに関するルール

● 一般情報

レンジ・レコードに申請する魚は、すべて現場で計測を行い、リリースをして良好な状態で泳ぎ去っていくのを確認しなければならない。有効なリリースのためには、水中で魚を保持し、エラに水を通して回復を待つこと。レンジ・レコードに申請した場合、その他のカテゴリーに申請することはできない。

● 釣具と釣りに関する規則

淡水および海水のコンベンショナルおよびフライタックルに適用されるIGFA ルールが当てはまるが、以下の例外を設ける。釣具と釣

りに関する規定は、魚の測定が終わり、リリースが完了するまで適用される。

A. ギャフとネット

1. 魚を取り込むためにギャフを使用することはできない。
2. ネットは、全長が2.44m (8フィート)を超えないこと。(橋、桟橋、またはその他の高い構造物の上から釣る時は、この長さの制限は適用されない。)
3. 魚のヌルや鱗に与える損傷を最小限に抑えるため、ラバーコーティングを施した結び目のないネットあるいは類似の製品の使用が推奨される。

B. メジャー

1. 計測は、IGFAの販売する専用メジャーを使用する。
2. メジャーが長すぎる場合はカットしてもよいが、つなぐことはできない。

● 釣りの規定

以下の場合には失格となる。

1. 釣具と釣りに関するIGFAルールに違反した場合。
2. 計測中に魚が死亡した、あるいはリリース後に遊泳が確認できなかった場合。

● レングス・レコード認定に関する諸規則

その他のレコード・カテゴリと同じ規則が適用されるが、以下の追加や例外を設定した。

A. 計測に関する規則

1. 計測は、平らな面にIGFAメジャーを置いて行う。
2. 魚の吻端はIGFAメジャーの起点に設けた「つい立て」に接触していること。ルアーやフィッシュグリップなどは取り外してあること。
3. 魚をIGFAメジャー上に置いた状態で、尾ビレの端の中心位置までを測る。
4. 計測はセンチメートル単位で行う。
5. 単位は切り捨てとする。45センチと46センチの間に来た場合、申請できる長さは45センチになる。

B. 空白カテゴリーに申請するための最小寸法

レングス・レコードの空白カテゴリーに申請する魚の寸法は、対象魚種リストに示されているとおり、該当種の最大記録の半分以上なければならない。

C. 記録更新もしくはタイ記録達成のための最小寸法

1. 既存の記録を更新するためには、少なくとも2cmが必要である。
2. 既存記録とまったく同寸、および長さは上回っているものの差が2cm未満の魚は、タイ記録とみなされる。タイ記録申請に3尾以上の魚が関係してくる場合は、オリジナルの記録（最初に

キャッチされた魚）と寸法を比較する。オリジナルの記録（最初にキャッチされた魚）より小さな魚は審査を行わない。

D. 申請書に添付する写真は、以下の情報を含まなければならない。

1. IGFAメジャーに乗せ、口吻と尾ビレの位置がはっきりとわかる魚の全体写真。手を添えても良いが、メジャーの目盛りの読み取りを妨げるような写真は受け入れない。
2. メジャー上に乗せた魚の吻端と尾ビレの位置がはっきりとわかるクローズアップ写真。
3. 釣り人が魚を持っている写真。
4. ロッドとリールの写真。

● 魚のハンドリングについて

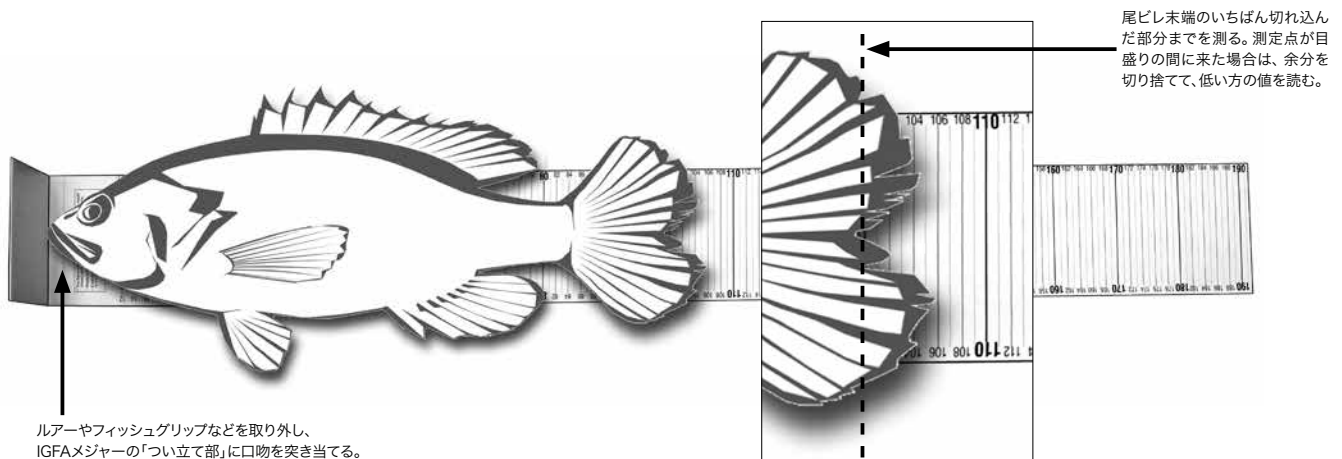
魚を水から上げ、計測を行って申請写真を撮影する際には、魚のヌルや鱗に与える損傷を最小限に抑えるため、ラバーコーティングを施した結び目のないネットなどを使用すべきである。魚の唇に掛けるフィッシュグリップの類も使用可能であるが、大型の魚は垂直に持ち上げてはならない。唇まわりの筋肉、骨組織、あるいは内臓を損傷する危険がある。手を使って魚を水から上げる場合は、片手で下唇を持ち、もう一方の手で魚を下から支えるようにする。魚は水平に持ち上げ、決して垂直にしないこと。

● 計測について

IGFA記録に申請するためには、魚の寸法を計測し、写真を撮影することになる。いずれも一定の時間を必要とするので、魚を取り込むまえに必要な用具類を準備しておくことが望ましい。計測や撮影にかかる時間が数分間にわたる場合は、魚をひんぱんに水に入れるか、ライブウェルを活用し、呼吸をさせてやること。

● リリースについて

魚のリリースにあたっては、時間と注意が必要である。まず魚を水に入れ、尾ビレの根本を握る。魚が自発的に身を振って泳ぎ去っていかない場合は、エラに水を通すためにそっと前に動かしてやる。エラは一方向への水の流れにしか対応できないので、前後には動かさないほうが良い。ゆっくりと円を描くように動かすか、ボートを低速で走らせるのは良い方法である。





世界記録の必要事項

IGFAルールに従って釣った魚だけが、世界記録の対象となる。
以下に、記録の部門、必要事項および記録申請の手続について記述する。

世界記録のカテゴリー

● 一般事項

IGFAはラインクラスおよびティベットクラス、それにオールタックルの各部門で、海と淡水のゲームフィッシュを対象として世界記録を認定管理する。世界記録として認定される魚の重量は0.453kg (1lb)以上なければならない。既存記録更新のためには、あらかじめ定められた重量差が存在することが前提となる。また新規認定のためには最低重量規則が適用される。

ふ化場、禁漁区、商業用に魚が放流された小さな水域で釣った魚は対象にならない。IGFAは、それぞれの申請に関してケース・バイ・ケースで上記の基準を適用する権利を有する。また釣りの行為は、その魚種および釣り場に適用される法律および規則に違反するものであってはならない。

IGFAの記録対象の新しい魚種が追加される場合には施行期日が発表され、施行期日以後に釣れたものが認定の対象となる。施行期日前のものについては対象とならない。『World Record Game Fishes』または他のIGFA出版物における魚種の追加発表は、公式な発表とみなされる。

一人の人が、同じ日に同じ種類の記録対象魚を複数釣った場合、一番重い、あるいは長いものだけが申請受理の対象となる。

● オールタックル部門

オールタックル記録とは、60kg (130lb)までの全ラインクラスで釣られた魚の最高重量である。ラインクラスの最大は60kg (130lb)までとし、それ以上のラインを使用した場合は失格となる。

オールタックル部門の記録申請はIGFAルールに従って釣られたすべての魚種を対象とする。

現在のIGFAのラインクラスとティベットクラスのリストに含まれていない魚種の申請は、下記の基準に合ったものであること。

1. 魚は、認められた学名を代表するものであること。
2. 魚は、それが釣られた区域において、通常ロッドとリールで釣られる種類であること。
3. 魚は、申請書に添付された写真やその他のデータによって確認できること。
4. 魚は、トロフィーサイズと思われる大きさであること。その種の最大重量の2分の1以上でなければならない。

● オールタックル・レンジス部門

オールタックル・レンジス記録は、60kg (130lb)までの全ラインクラスで釣られ、リリースされた魚の最大長である。ラインクラスの最大は60kg (130lb)までとし、それ以上のラインを使用した場合は失格となる。

オールタックル・レンジス部門の記録申請は、IGFAルールに従って釣られた、P.87に記載の魚種を対象とする。

● ジュニア・アングラー部門

ジュニアアングラー世界記録は、「スモールフライ」と「ジュニア」の2カテゴリーにおいて、60kg (130lb)までの全ラインクラスで釣られた魚の最高重量である。「スモールフライ」とは0から10歳まで、「ジュニア」とは11から16歳までのアングラーとし、男女の別がある。対象魚は、ラインクラスおよびティベットクラス世界記録と同じである。

● ラインクラスおよびフライロッド部門

ラインクラスの記録は、クラスラインの強度によって区分される。フライロッドの世界記録は、クラスティベットの強度によって区別される。

ラインクラス世界記録の対象魚種とフライロッド世界記録の対象魚種は同じである。ラインクラスとティベットクラスは以下のとおり。

ラインクラス

メートル法(kg)	1	2	3	4	6	8	10	15	24	37	60
ポンド表記(lb)	2	4	6	8	12	16	20	30	50	80	130

ティベットクラス

メートル法(kg)	1	2	3	4	6	8	10
ポンド表記(lb)	2	4	6	8	12	16	20

【淡水魚の海および汽水でのキャッチについて】

淡水魚部門に記載されている魚は、海または汽水で釣ったものも淡水魚の世界記録として認められる。ただし釣り具および釣り方は淡水のルールに基づいたものでなければならない。

オールタックル世界記録を除き、魚種によってラインクラスが限定されている場合がある。種類ごとの最大ラインクラスは以下のとおりとする。

淡水魚 Freshwater Species		
日本名	英名/学名	最大ラインクラス
アロワナ	Arawana / <i>Osteoglossum bicirrhosum</i>	10kg(20lb)
Asp / <i>Leuciscus aspius</i>		10kg(20lb)
バラムンディ	Barramundi / <i>Lates calcarifer</i>	37kg(80lb)
Barbel / <i>Barbus barbus</i>		10kg(20lb)
Bass, Australian / <i>Macquaria colonorum</i>		8kg(16lb)
Bass, largemouth / <i>Micropterus salmoides</i>		10kg(20lb)
Bass, smallmouth / <i>Micropterus dolomieu</i>		8kg(16lb)
Bass, spotted / <i>Micropterus punctulatus</i>		10kg(20lb)
Bass, striped (landlocked) / <i>Morone saxatilis</i>		24kg(50lb)
Bass, whiterock / <i>Morone saxatilis x Morone chrysops</i>		10kg(20lb)
ボウフィン	Bowfin / <i>Amia calva</i>	15kg(30lb)
Buffalo, bigmouth / <i>Ictiobus cyprinellus</i>		37kg(80lb)
Buffalo, smallmouth / <i>Ictiobus bubalus</i>		24kg(50lb)
Carp, common / <i>Cyprinus carpio</i>		24kg(50lb)
コイ	Carp, grass / <i>Ctenopharyngodon idellus</i>	37kg(80lb)
ソウギョ	Catfish, blue / <i>Ictalurus furcatus</i>	60kg(130lb)
ブルーキャットフィッシュ	Catfish, channel / <i>Ictalurus punctatus</i>	37kg(80lb)
アメリカナマズ	Catfish, flathead / <i>Pylodictis olivaris</i>	60kg(130lb)
	Catfish, redbell / <i>Phractocephalus hemiliopterus</i>	60kg(130lb)
	Catfish, sharpnose / <i>Clarias farreri</i>	60kg(130lb)
	Char, Arctic / <i>Salvelinus alpinus</i>	15kg(30lb)
ホッキョクイワナ	Dolly Varden / <i>Salvelinus malma</i>	6kg(12lb)
オシロコマ	Dorado / <i>Maxillosus spp.</i>	24kg(50lb)
ドラド類	Gar, alligator / <i>Lepisosteus spatula</i>	60kg(130lb)
アリゲーターガー	Gar, longnose / <i>Lepisosteus osseus</i>	37kg(80lb)
ロングノーズガー		

グレーリング	Grayling / <i>Thymallus thymallus</i> ……………	10kg(20lb)
キタカワヒメマス	Grayling, Arctic / <i>Thymallus arcticus</i> ……………	10kg(20lb)
ヨーロツバイトウ	Huchen / <i>Hucho hucho</i> ……………	60kg(130lb)
	Inconnu / <i>Stenodus leucichthys</i> ……………	24kg(50lb)
ヒメマス	Kokanee / <i>Oncorhynchus nerka</i> ……………	6kg(12lb)
マスケランジ	Muskellunge / <i>Esox masquinongy</i> ……………	37kg(80lb)
	Muskellunge, tiger / <i>Esox masquinongy x E. lucius</i> ……………	24kg(50lb)
	Nembwe / <i>Serranochromis robustus</i> ……………	10kg(20lb)
	Payara / <i>Hydrolicus scomberoides</i> ……………	10kg(20lb)
	Peacock, blackstriped / <i>Cichla intermedia</i> ……………	10kg(20lb)
	Peacock, butterfly / <i>Cichla ocellaris</i> ……………	10kg(20lb)
	Peacock, speckled / <i>Cichla temensis</i> ……………	10kg(20lb)
	Peacock, Orinoco / <i>Cichla orinocensis</i> ……………	10kg(20lb)
	Pellona, Amazon / <i>Pellona castelneana</i> ……………	15kg(30lb)
ナイルパーチ	Perch, Nile / <i>Lates niloticus</i> ……………	60kg(130lb)
ノーザンバイク	Pike, northern / <i>Esox lucius</i> ……………	24kg(50lb)
タイセイヨウサケ	Salmon, Atlantic / <i>Salmo salar</i> ……………	24kg(50lb)
タイセイヨウサケ(陸封型)	Salmon, Atlantic (landlocked) / <i>Salmo salar</i> ……………	15kg(30lb)
マスノスケ	Salmon, chinook / <i>Oncorhynchus tshawytscha</i> ……………	60kg(130lb)
シロザケ	Salmon, chum / <i>Oncorhynchus keta</i> ……………	15kg(30lb)
ギンザケ	Salmon, coho / <i>Oncorhynchus kisutch</i> ……………	24kg(50lb)
カラフトマス	Salmon, pink / <i>Oncorhynchus gorbuscha</i> ……………	15kg(30lb)
ベニザケ	Salmon, sockeye / <i>Oncorhynchus nerka</i> ……………	15kg(30lb)
スネークヘッド類	Snakehead / <i>Channa</i> spp. ……………	24kg(50lb)
ウラウチフエダイ	Snapper, Papuan black / <i>Lutjanus goldiei</i> ……………	24kg(50lb)
	Sorubim / <i>Pseudoplatystoma</i> spp. ……………	60kg(130lb)
チョウザメ類	Sturgeon / <i>Acipenseridae</i> family ……………	60kg(130lb)
タイメン	Taimen / <i>Hucho taimen</i> ……………	60kg(130lb)
	Tambaqui / <i>Colossoma macropomum</i> ……………	60kg(130lb)
タイガーフィッシュ	Tigerfish / <i>Hydrocynus vittatus</i> ……………	15kg(30lb)
	Tigerfish, giant / <i>Hydrocynus goliath</i> ……………	60kg(130lb)
	Trahira / <i>Hoplias</i> spp. ……………	24kg(50lb)
ブルクトラウト	Trout, brook / <i>Salvelinus fontinalis</i> ……………	10kg(20lb)
ブラウントラウト	Trout, brown / <i>Salmo trutta</i> ……………	24kg(50lb)
ブルトラウト	Trout, bull / <i>Salvelinus confluentus</i> ……………	10kg(20lb)
カッツスロートトラウト	Trout, cutthroat / <i>Oncorhynchus clarki</i> ……………	10kg(20lb)
ゴールデントラウト	Trout, golden / <i>Oncorhynchus aguabonita</i> ……………	6kg(12lb)
レイクトラウト	Trout, lake / <i>Salvelinus namaycush</i> ……………	37kg(80lb)
ニジマス	Trout, rainbow / <i>Oncorhynchus mykiss</i> ……………	24kg(50lb)
タイガートラウト	Trout, tiger / <i>Salmo trutta x Salvelinus fontinalis</i> ……………	15kg(30lb)
ウォールアイ	Walleye / <i>Stizostedion vitreum</i> ……………	10kg(20lb)
	Wels / <i>Silurus glanis</i> ……………	60kg(130lb)
ザンダー	Zander / <i>Stizostedion luciopecca</i> ……………	15kg(30lb)

海水魚 Saltwater Species		
日本名	英名／学名	最大ラインクラス
ビンナガ	Albacore / <i>Thunnus alalunga</i> ……………	37kg(80lb)
カンパチ	Amberjack, greater / <i>Seriola dumerili</i> ……………	60kg(130lb)
オニカマス	Barracuda, great / <i>Sphyræna barracuda</i> ……………	37kg(80lb)
	Barracuda, Guinean / <i>Sphyræna afra</i> ……………	60kg(130lb)
	Barracuda, Mexican / <i>Sphyræna ensis</i> ……………	15kg(30lb)
	Bass, European / <i>Dicentrarchus labrax</i> ……………	15kg(30lb)
コクチイシナギ	Bass, giant sea / <i>Stereolepis gigas</i> ……………	60kg(130lb)
	Bass, kelp (calico) / <i>Paralabrax clathratus</i> ……………	10kg(20lb)
ストライプトバス	Bass, striped / <i>Morone saxatilis</i> ……………	37kg(80lb)
アミキリ	Bluefish / <i>Pomatomus saltatrix</i> ……………	24kg(50lb)
ボーンフィッシュ	Bonefish / <i>Albula</i> spp. ……………	15kg(30lb)
	Bonito, Atlantic / <i>Sarda sarda</i> ……………	15kg(30lb)
ハガツオ類	Bonito, Pacific / <i>Sarda</i> spp. ……………	15kg(30lb)
ブリ	Buri, Japanese Amberjack / <i>Seriola quinqueradiata</i> ……………	60kg(130lb)
スギ	Cobia / <i>Rachycentron canadum</i> ……………	37kg(80lb)
	Cod, Atlantic / <i>Gadus morhua</i> ……………	37kg(80lb)
マダラ	Cod, Pacific / <i>Gadus macrocephalus</i> ……………	24kg(50lb)
	Conger / <i>Conger conger</i> ……………	60kg(130lb)
	Corbina, California / <i>Menticirrhus undulatus</i> ……………	10kg(20lb)
	Dentex / <i>Dentex dentex</i> ……………	15kg(30lb)
シイラ	Dolphinfish / <i>Coryphaena hippurus</i> ……………	37kg(80lb)
	Drum, black / <i>Pogonias cromis</i> ……………	37kg(80lb)
	Drum, red / <i>Sciaenops ocellatus</i> ……………	37kg(80lb)
	Flounder, summer / <i>Paralichthys dentatus</i> ……………	15kg(30lb)
	Grouper, black / <i>Mycteroperca bonaci</i> ……………	60kg(130lb)
	Grouper, broomtail / <i>Mycteroperca xenarcha</i> ……………	60kg(130lb)
	Grouper, gag / <i>Mycteroperca microlepis</i> ……………	60kg(130lb)
	Grouper, goliath / <i>Epinephelus itajara</i> ……………	60kg(130lb)
	Grouper, red / <i>Epinephelus morio</i> ……………	24kg(50lb)
	Halibut, Atlantic / <i>Hippoglossus hippoglossus</i> ……………	60kg(130lb)
	Halibut, California / <i>Paralichthys californicus</i> ……………	37kg(80lb)
オヒョウ	Halibut, Pacific / <i>Hippoglossus stenolepis</i> ……………	60kg(130lb)
ヒレナガカンパチ	Jack, almaco / <i>Seriola rivoliana</i> ……………	60kg(130lb)
	Jack, crevalle / <i>Caranx hippos</i> ……………	24kg(50lb)
	Jack, horse-eye / <i>Caranx latus</i> ……………	24kg(50lb)
	Jack, Pacific crevalle / <i>Caranx caninus</i> ……………	24kg(50lb)
	Kahawai / <i>Aripris</i> spp. ……………	15kg(30lb)

スマ	Kawakawa / <i>Euthynnus affinis</i> ……………	15kg(30lb)
カライワシ類	Ladyfish / <i>Elops</i> spp. ……………	15kg(30lb)
	Leerfish (Garrick) / <i>Lichia amia</i> ……………	24kg(50lb)
	Lingcod / <i>Ophiodon elongatus</i> ……………	24kg(50lb)
	Mackerel, cero / <i>Scomberomorus regalis</i> ……………	10kg(20lb)
	Mackerel, king / <i>Scomberomorus cavalla</i> ……………	37kg(80lb)
	Mackerel, narrowbarred / <i>Scomberomorus commerson</i> ……………	37kg(80lb)
ヨコシマサワラ	Mackerel, Pacific sierra / <i>Scomberomorus sierra</i> ……………	10kg(20lb)
	Mackerel, Spanish / <i>Scomberomorus maculatus</i> ……………	10kg(20lb)
	Madai / <i>Pagrus major</i> ……………	24kg(50lb)
マダイ	Marlin, black / <i>Makaira indica</i> ……………	60kg(130lb)
シロカジキ	Marlin, blue (Atlantic) / <i>Makaira nigricans</i> ……………	60kg(130lb)
ニシクロカジキ	Marlin, blue (Pacific) / <i>Makaira nigricans</i> ……………	60kg(130lb)
クロカジキ	Marlin, striped / <i>Tetrapturus audax</i> ……………	60kg(130lb)
マカジキ	Marlin, white / <i>Tetrapturus albidus</i> ……………	60kg(130lb)
ニシマカジキ	Meagre / <i>Argyrosomus</i> spp. ……………	60kg(130lb)
オオニベ類	Permit / <i>Trachinotus falcatus</i> ……………	24kg(50lb)
バーミット	Pollack, European / <i>Pollachius pollachius</i> ……………	24kg(50lb)
	Pollock / <i>Pollachius virens</i> ……………	24kg(50lb)
イトヒキアジ	Pompano, African / <i>Alectis ciliaris</i> ……………	24kg(50lb)
	Queenfish, talang / <i>Scomberoides commersonnianus</i> ……………	24kg(50lb)
	Rockfish, yelloweye / <i>Sebastes ruberrimus</i> ……………	24kg(50lb)
	Roosterfish / <i>Nematistius pectoralis</i> ……………	60kg(130lb)
ツムブリ	Runner, rainbow / <i>Elagatis bipinnulata</i> ……………	24kg(50lb)
バショウカジキ(大西洋)	Sailfish, Atlantic / <i>Istiophorus platypterus</i> ……………	37kg(80lb)
バショウカジキ(太平洋)	Sailfish, Pacific / <i>Istiophorus platypterus</i> ……………	60kg(130lb)
サムソンフィッシュ	Samson Fish / <i>Seriola hippos</i> ……………	60kg(130lb)
ヒラズキ	Seabass, blackfin / <i>Lateolabrax latius</i> ……………	15kg(30lb)
スズキ	Seabass, Japanese / <i>Lateolabrax japonicus</i> ……………	15kg(30lb)
	Seabass, white / <i>Atractoscion nobilis</i> ……………	37kg(80lb)
	Seabream, gilthead / <i>Sparus aurata</i> ……………	24kg(50lb)
	Seatrout, spotted / <i>Cynoscion nebulosus</i> ……………	15kg(30lb)
ヨシキリザメ	Shark, blue / <i>Prionace glauca</i> ……………	60kg(130lb)
	Shark, bonnethead / <i>Sphyrna tiburo</i> ……………	15kg(30lb)
	Shark, blacktip / <i>Carcharhinus limbatus</i> ……………	60kg(130lb)
シュモクザメ類	Shark, hammerhead / <i>Sphyrna</i> spp. ……………	60kg(130lb)
アオザメ類	Shark, mako / <i>Isurus</i> spp. ……………	60kg(130lb)
	Shark, porbeagle / <i>Lamna nasus</i> ……………	60kg(130lb)
オナガザメ類	Shark, thresher / <i>Alopias</i> spp. ……………	60kg(130lb)
イタチザメ	Shark, tiger / <i>Galeocerdo cuvier</i> ……………	60kg(130lb)
	Shark, tope / <i>Galeorhinus galeus</i> ……………	37kg(80lb)
ホホジロザメ	Shark, white / <i>Carcharodon carcharias</i> ……………	60kg(130lb)
	Sharks, whaler / <i>Carcharhinidae</i> family. ……………	60kg(130lb)
	Skipjack, black / <i>Euthynnus lineatus</i> ……………	15kg(30lb)
	Snapper (squirefish) / <i>Pagrus auratus</i> ……………	24kg(50lb)
	Snapper, cubera / <i>Lutjanus cyanopterus</i> ……………	60kg(130lb)
	Snapper, gray / <i>Lutjanus griseus</i> ……………	15kg(30lb)
	Snapper, African red/ <i>Lutjanus agennes</i> ……………	60kg(130lb)
	Snapper, mullet / <i>Lutjanus aratus</i> ……………	24kg(50lb)
	Snapper, mutton / <i>Lutjanus analis</i> ……………	15kg(30lb)
	Snapper, Pacific cubera / <i>Lutjanus novemfasciatus</i> ……………	60kg(130lb)
	Snapper, red / <i>Lutjanus campechanus</i> ……………	24kg(50lb)
	Snapper, yellowtail / <i>Ocyurus crysurus</i> ……………	10kg(20lb)
スヌーク(大西洋)	Snook, Atlantic / <i>Centropomus</i> spp. ……………	24kg(50lb)
スヌーク(太平洋)	Snook, Pacific / <i>Centropomus</i> spp. ……………	24kg(50lb)
フウライカジキ	Spearfish, Atlantic / <i>Tetrapturus</i> spp. ……………	37kg(80lb)
メカジキ	Spearfish, shortbill / <i>Tetrapturus angustirostris</i> ……………	37kg(80lb)
ターポン	Swordfish / <i>Xiphias gladius</i> ……………	60kg(130lb)
	Tarpon / <i>Megalops atlanticus</i> ……………	60kg(130lb)
	Tautog / <i>Tautoga onitis</i> ……………	15kg(30lb)
	Threadfin, giant African / <i>Polydactylus quadrifilis</i> ……………	60kg(130lb)
	Threadfin, king / <i>Polydactylus macrochir</i> ……………	15kg(30lb)
ギンガメアジ	Trevally, bigeye / <i>Caranx sexfasciatus</i> ……………	37kg(80lb)
カスミアジ	Trevally, bluefin / <i>Caranx melampygus</i> ……………	15kg(30lb)
ロウニンアジ	Trevally, giant / <i>Caranx ignobilis</i> ……………	60kg(130lb)
コガネシマアジ	Trevally, golden / <i>Gnathanodon speciosus</i> ……………	15kg(30lb)
マツダイ	Tripletail / <i>Lobotes surinamensis</i> ……………	24kg(50lb)
メバチ(大西洋)	Tuna, bigeye (Atlantic) / <i>Thunnus obesus</i> ……………	60kg(130lb)
メバチ(太平洋)	Tuna, bigeye (Pacific) / <i>Thunnus obesus</i> ……………	60kg(130lb)
タイセイヨウマグロ	Tuna, blackfin / <i>Thunnus atlanticus</i> ……………	24kg(50lb)
クロマグロ(大西洋)	Tuna, bluefin / <i>Thunnus thynnus</i> ……………	60kg(130lb)
イソマグロ	Tuna, dogtooth / <i>Gymnosarda unicolor</i> ……………	60kg(130lb)
コシナガ	Tuna, longtail / <i>Thunnus tonggol</i> ……………	37kg(80lb)
クロマグロ(太平洋)	Tuna, Pacific bluefin / <i>Thunnus orientalis</i> ……………	60kg(130lb)
カツオ	Tuna, skipjack / <i>Katsuwonus pelamis</i> ……………	24kg(50lb)
ミナミマグロ	Tuna, southern bluefin / <i>Thunnus maccoyi</i> ……………	60kg(130lb)
キハダ	Tuna, yellowfin / <i>Thunnus albacares</i> ……………	60kg(130lb)
	Tunny, little / <i>Euthynnus alletteratus</i> ……………	15kg(30lb)
カマスサワラ	Wahoo / <i>Acanthocybium solandri</i> ……………	60kg(130lb)
	Weakfish / <i>Cynoscion regalis</i> ……………	15kg(30lb)
ヒラマサ	Yellowtail, California / <i>Seriola lalandi dorsalis</i> ……………	37kg(80lb)
ミナミヒラマサ	Yellowtail, southern / <i>Seriola lalandi lalandi</i> ……………	60kg(130lb)

● ラインの強度試験

IGFAは世界記録申請書とともに提出されたラインおよびティベットのすべてについて、メートル法表示のラインクラスに従って試験を実施する。例えば、4kgは実際には8.81lbに相当するので、8ポンドクラスに使用するラインの強度上限は8.81lb (4kg)となる。IGFAが採用するメートル法表示はアメリカ慣習のポンド表示とは異なるので注意されたい。比較は下表の通りである。

換算表

kg	1	2	3	4	6	8	10	15	24	37	60
lb	2.2	4.40	6.6	8.8	13.22	17.63	22.04	33.06	52.91	81.57	132.27

記録申請のために提出されたラインまたはティベットのサンプルは、IGFAが定める項目に従って、国家の認めた計量法で一律にテストする。

注：IGFA および JGFA はラインまたはティベットに関し、『ラインテストサービス』を会員に限り、実施している。(有料)

記録認定に関する諸規則

● 一般事項

1. 記録申請または現在の記録に対する異議の申し立てについては、IGFAの執行委員会が判断を行う。執行委員会の判断は最終的である。IGFAはすべての記録申請を承認または却下する権利を有する。IGFAが下すあらゆる判断は、IGFAルール of the 理念に基づくものである。
2. IGFAルールは、フロリダ州法に準拠し、それに従って管理、実施、解釈されるものとする。
3. 世界記録の樹立に多額の賞金・商品が用意され、ラインクラスおよびティベットのクラスに関する制限が課されていない場合は、オールタックルの記録申請のみが認められる。
4. IGFAの役員、国際委員、または各地のIGFAクラブ会員の代表は、申請内容の再確認を依頼される場合がある。これは申請内容に対する疑惑のゆえではなく、IGFAが記録を調査し、維持するために細心の注意の証と解釈されたい。

● 魚種の確認

1. 申請書には、正確な魚種確認を可能にする写真が必要となる。「写真撮影の注意点」をよく読み、World Record Game Fishesに掲載された同定ガイドを参照して、種類判断のためには魚のどのような特徴に注目すべきかを知ること。写真を伴わない申請書は受け付けない。
2. 写真などの提出データを使用しても適切な種類判断が困難となる可能性がある場合には、魚類学者または魚類生物学者による実際の確認を受けたうえでIGFAに申請しなければいけない。その場合には、IGFAの申請書または魚の同定書類に研究者の肩書と署名(あるいは資格)が必要となる。
3. 申請時点で科学者に確認してもらうことができない場合、後に適任者が確認するか、IGFAから保管の必要がないとの連絡が行くまで、魚を塩蔵または冷凍状態で保管する。
4. 写真で魚種の判断ができず、また釣り人も証拠となるものが提出できなかった場合、その申請は却下される。

● 釣魚の現認

記録申請には、現認者がいることが望ましい。証人のいない釣果は、その妥当性に疑義が生じた場合に却下されることがある。また、釣り人が IGFA ルールに従ったことを証言できる人の存在も重要である。

● 記録申請に必要な最低重量

2017年4月1日より、IGFAは以下の最低重量を設定する。

① 10kg (20ポンド)以下のラインクラス、およびフライロッドの全ティベットのクラスに関して：

申請魚の重量は、少なくともライン強度の半分はあること。たとえば6kg (12lb)ラインクラスに申請する魚は、少なくとも3kg (6lb 9oz)の重量が求められる。

② 10kg (20ポンド)を超えるラインクラスに関して：

申請魚の重量は、少なくともライン強度と同じであること。たとえば24kg (50lb)ラインクラスに申請する魚は、少なくとも24kg (52lb 14oz)の重量が求められる。

記録更新またはタイ記録に関して

1. 11.33kg (25lb)未満の魚の記録更新は、現在の記録より少なくとも 56.69g (2オンス)以上の付加重量がなければいけない。
2. 11.33kg (25lb)以上の重量がある魚の記録更新は、現在の記録より 0.5%以上の付加重量がなければいけない。
〈例〉45.35kgの記録を更新するには、 $45.35\text{kg} \times 0.005 = 226.7\text{g}$ (8オンス)、90.71 kgの記録を更新するためには、 $90.71\text{kg} \times 0.005 = 0.45\text{kg}$ (1ポンド)以上の付加重量がなければ記録を更新できない。
3. 釣った魚の重量が現在の記録と同じか、またはそれ以上であっても差が付加重量以内の場合は、タイ記録とみなされる。二つ以上のタイ記録の申請は最初の記録 (一番最初の記録魚)を超えるものがタイ記録と認定される。最初の記録より重量が少ない時はタイ記録とみなされない。
4. 推定による重量は認められない (釣魚の計量規定を参照のこと)。また、オンスの端数、メートル法の同値は認められない。

● 申請期限

オールタックル記録を除き、アメリカの水域で釣った魚の記録申請は、釣った日から60日以内にIGFAに受理されなければいけない。その他の水域で釣った魚の記録申請は、釣った日から 90日以内にIGFAに受理されなければいけない。

過去に釣った魚のオールタックル部門への記録申請は、下記の要件を満たす場合にのみ審査の対象となる。

- (1) 妥当な複数の写真が提出されていること。

(2) その魚の重量が明確に証明されていること。

(3) 釣法が証明されていること。

過去になされた捕獲についてはIGFAの世界記録申請書にできるだけ多くの情報を記入し、追加の実証的データと共に提出されなければならない。もし記録申請に不備がある場合は、不備についての説明書を添付し、次の条件に合っていれば記録審査が行われる。

1. 不備な点の理由説明書が上記期間内にIGFAに届けられた時。
2. 不備な点は、申請者の不可抗力と認められた時。
3. 不備な点は、諸事情を考慮して妥当とみなされる時間内に不足の資料を提出しなければいけない。不備のある申請に対する最終的な決定はIGFAの執行委員会によってなされる。

● 釣魚の計量測定

1. 釣魚は、政府機関や公式な精度認定団体によって認証を受けたハカリを使って計測しなければならない。釣魚の重量と利害関係のない人をできるだけ立ち合わせる。ハカリは、少なくとも年に1回精度認証を受けること。もしそのハカリが精度認証を受けていない場合は、できるだけ速やかに検査し、正確であることを証明しなければならない。魚を計測した時の状態に関する正式な報告書を申請書に添付すること。
2. ハカリの上に魚を固定するために板、袋またはロープなどを使用した場合は、その重量を計り、全体の重量から差し引かなければいけない。(写真を撮り提出する。)
3. 計量する時、釣り人が実際にその魚を釣る時に使用した釣り具を計量人と立合人に提示しなければいけない。
4. 推定による重量は認められない。海または内水面の船や、水に浮かぶ物体上で計量したものは認められない。
5. ハカリの目盛りに表示された重量だけが認められる。これらの目盛りの微量な端数を目安に読んではいけない。ハカリが二つの目盛りの間を指した時は低い方の数値とする。
6. ハカリに関する疑義が生じた場合、IGFAは精度認証を要求する権利を有する。

● 記録申請の必要事項

世界記録を申請する際には、IGFAの申請書と、その魚を釣るのに使用した指定の長さのラインやリーダー以下の仕掛けを提出する。釣った魚と使用した釣り具の写真、魚の重量を計ったハカリの写真、釣り人と魚が同時に収まっている写真も添付する。

● 記録申請書

世界記録の申請には、IGFAの定める世界記録申請用紙を使用しなければいけない。申請用紙は、すべての項目が含まれていれば複写したものでよい。

釣り人は自分で申請用紙に必要事項を記入し、ラインサンプルまたはフライリーダー、および写真を提出しなければならない。

申請書には、釣り人が使用したラインまたはティベットの強度を記入しなければいけない。ラインクラスまたはティベットの強度に関しては、使用した製品の表記強度が該当するIGFAラインクラスまたはティベットの強度を決定する(「世界記録のカテゴリー」を

参照のこと)。すべてのラインは、表記された強度どおりであるか、IGFAが実際に検査を行う。ラインやティベットの試験結果が所定のクラスの強さを超えた(オーバーテスト)場合、申請は次の上位の部門とする。しかし低い試験結果(アンダーテスト)の場合、申請部門より下位のクラスにならない。海水と淡水の両方の記録に認められる最も強いラインクラスは、60kg (130lb)クラス、フライフィッシングの最も強いティベットの強度は10kg (20lb)クラスである。ラインまたはティベットの強度がこれらの最大限の強さを超える試験結果が出た場合、申請は却下される。

魚の測定は、しばしば重量の検証や科学研究のために重要とされるので、慎重を期して行なうべきである。正しい測定を行うために、記録申請用紙に掲載されている図を参照のこと。

釣り人はボートのキャプテン、計量者および現認者の署名と正確な住所などが申請書に記入されているか確かめる責任がある。IGFAの職員やレプレゼンタティブ、IGFAクラブのメンバーなどが現場にいる場合、現認者となってもらうべきである。キャプテンやガイドまたは計量者の氏名が現認者として重複することは認められない。

釣り人は申請書を認証してもらうために公証役場まで自ら出向くべきである。公証手続が不可能またはそれを慣習としない地域においては、政府の地方行政官、駐在員、大使館員、領事館や公使館員、またはIGFA職員か国際委員などの署名を公証に代えることができる。

申請において故意の偽造があった時は、将来のIGFA世界記録の申請資格を失い、現在の記録も無効とされる。

● ラインおよびティベットのサンプル

フライフィッシングの記録申請は、使用したフライ、ティベットの全体、リーダー全体を提出しなければいけない。これらはすべて連結された状態であること。

海と淡水のラインクラス記録の申請は、使用したリーダーとダブルラインの全部、およびダブルラインからリーダー、フックに最も近いシングルラインを少なくとも15.34m (50フィート)添えなければいけない。(ただし、日本記録と世界記録の両方を兼ねる場合は、JGFAとIGFAでそれぞれラインブレイクテストを行うので、シングルライン部分は25m以上とする)。すべてのラインサンプルとリーダー(使用した場合は)は連結されたものを提出しなければいけない。もしルアーをリーダーに付けて使用した場合は、リーダーはルアーを取り付ける輪の所で切るようにする。

それぞれのラインサンプルは、連結したままの状態であること。ラインサンプルは、傷つけることなく容易にほどける方法で提出しなければいけない。推奨できる方法は、段ボールを長方形に切り、両端に切込みを入れて使うことである。切込みにラインの一端をしっかりと挟み、厚紙を芯にしてラインを巻く。巻き終わりの切込みにしっかりと挟み、氏名とラインクラスを記入する。絡んでいたり、容易にほどけないラインサンプルは受け付けられない。

● 写真の要件

申請書には、魚の全長を示す写真、使用した釣り具の写真、魚の重量を計ったハカリの写真、釣り人と魚が同時に収まっている写真を添付する。

魚種判定のためには、できるだけ鮮明な写真を提出するべきである。これは交雑種や、混同されやすい魚種の場合に重要である。サメ類を申請する場合は、横から撮った画像だけでなく、歯の写真、頭と背中を上から撮影した写真も提出する。後者では、第一および第二背鰭間の隆起部の有無がはっきりと分かること。

魚は、ぶら下げた状態と平面に置かれた状態を鮮明に写す。魚はカメラに対して平らな状態にし、いかなる部分も隠れていないこと。ヒレは完全に伸びた状態とし、手で隠されていないこと。魚の

口や吻部がはっきりと写っていること。サメやマグロ類のキールが、テイルロープで隠されていないこと。

魚を置いて撮影する場合は、その場所をできるだけ平らにならし、魚の側にメジャーを置くことが推奨される。魚は様々な角度から撮影しておく。

魚をハカリにかけた状態で、重量値が読み取れるよう鮮明に撮影した写真があれば、認定の促進に繋がる。

IGFA ALL - TACKLE LENGTH RECORD

IGFA

オールタックル・レングス・レコード

〈世界記録魚種〉

IGFAオールタックル・レングス・レコード(長さの世界記録)の対象魚と申請可能サイズ

SALTWATER SPECIES (海水魚)	日本名など	申請できる最小サイズ
Albacore	<i>Thunnus alalunga</i>	ビンナガ
Amberjack, greater	<i>Seriola dumerili</i>	カンパチ
Bass, black sea	<i>Centropomus striata</i>	
Bass, European	<i>Dicentrarchus labrax</i>	
Bass, kelp (calico)	<i>Paralabrax clathratus</i>	
Bass, striped	<i>Morone saxatilis</i>	ストライプトバス
Bluefish	<i>Pomatomus saltatrix</i>	ブルーフィッシュ
Bonefish	<i>Albula</i> spp.	ボーンフィッシュ
Bonito, Atlantic	<i>Sarda sard</i>	
Bonito, Pacific	<i>Sarda</i> spp.	ハガツオ類
Cobia	<i>Rachycentron canadum</i>	スギ
Corbina, California	<i>Minticirrhus undulatus</i>	
Dentex	<i>Dentex dentex</i>	
Drum, black	<i>Pogonias cromis</i>	
Drum, red	<i>Sciaenops ocellatus</i>	
Grouper, black	<i>Mycteroperca bonaci</i>	
Grouper, broomtail	<i>Mycteroperca xenarcha</i>	
Grouper, gag	<i>Mycteroperca microlepis</i>	
Grouper, red	<i>Epinephelus morio</i>	
Halibut, California	<i>Paralichthys californicus</i>	
Jack, almaco	<i>Seriola rivoliana</i>	ヒレナガカンパチ
Jack, crevalle	<i>Caranx hippos</i>	ジャッククレパレ
Jack, horse-eye	<i>Caranx latus</i>	
Jack, Pacific crevalle	<i>Caranx caninus</i>	
Kahawai (Australian salmon)	<i>Ariopsis trutta</i>	
Kawakawa	<i>Euthynnus affinis</i>	スマ
Ladyfish	<i>Elops</i> spp.	カライワシ類
Leerfish (Garrick)	<i>Lichia amia</i>	
Mackerel, cero	<i>Scomberomorus regalis</i>	
Mackerel, narrowbarred	<i>Scomberomorus commerson</i>	ヨコシマサワラ
Mackerel, Pacific sierra	<i>Scomberomorus sierra</i>	
Mackerel, Spanish	<i>Scomberomorus maculatus</i>	
Madai	<i>Pagrus major</i>	マダイ
Meagre	<i>Argyrosomus</i> spp.	オオニベ類
Permit	<i>Trachinotus falcatus</i>	パーミット
Pollock	<i>Pollachius virens</i>	
Pompano, African	<i>Alectis ciliaris</i>	イトヒキアジ
Queenfish, talang	<i>Scomberoides commersonianus</i>	
Rockfish, black/blue	<i>Sebastes melanops</i>	
Roosterfish	<i>Nemastilus pectoralis</i>	ルースターフィッシュ
Samson fish	<i>Seriola hippos</i>	サムソンフィッシュ
Seabass, blackfin	<i>Lateolabrax latius</i>	ヒラスズキ
Seabass, Japanese (suzuki)	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ
Seabass, white	<i>Atractoscion nobilis</i>	
Seatrout, spotted	<i>Cynoscion nebulosus</i>	
Shark, bonnethead	<i>Sphyrna tiburo</i>	
Skipjack, black	<i>Euthynnus lineatus</i>	
Snapper (squirefish)	<i>Pagrus auratus</i>	
Snapper, African red	<i>Lutjanus agennes</i>	
Snapper, cubera	<i>Lutjanus cyanopterus</i>	
Snapper, grey	<i>Lutjanus griseus</i>	
Snapper, mullet	<i>Lutjanus aratus</i>	
Snapper, mutton	<i>Lutjanus analis</i>	
Snapper, Pacific cubera	<i>Lutjanus novemfasciatus</i>	
Snapper, red	<i>Lutjanus campechanus</i>	
Snapper, yellowtail	<i>Ocyurus chrysurus</i>	
Snook, Atlantic	<i>Centropomus</i> spp.	スヌーク(大西洋)
Snook, Pacific	<i>Centropomus</i> spp.	スヌーク(太平洋)
Tarpon, oxeve	<i>Megalops cyprinoides</i>	イセゴイ
Threadfin, giant African	<i>Polydactylus quadrifilis</i>	
Threadfin, king	<i>Polydactylus macrochir</i>	
Trevally, bigeye	<i>Caranx sexfasciatus</i>	ギンガメアジ
Trevally, bluefin	<i>Caranx melampygus</i>	カスミアジ
Trevally, giant	<i>Caranx ignobilis</i>	ロウニンアジ
Trevally, golden	<i>Gnathanodon speciosus</i>	コガネシマアジ
Tripletail	<i>Lobotes surinamensis</i>	マツダイ
Tuna, blackfin	<i>Thunnus atlanticus</i>	
Tuna, longtail	<i>Thunnus tonggol</i>	コシナガ
Tuna, skipjack	<i>Katsuwonus pelamis</i>	カツオ

Tunny, little	<i>Euthynnus alletteratus</i>		53 cm
Weakfish	<i>Cynoscion regalis</i>		48 cm
Yellowtail, California	<i>Seriola lalandi dorsalis</i>	ヒラマサ	80 cm
Yellowtail, southern	<i>Seriola lalandi lalandi</i>	ミナミヒラマサ	78 cm

FRESHWATER SPECIES (淡水魚)	日本名など	申請できる最小サイズ
Arawana	<i>Osteoglossum bicirrhosum</i>	アロワナ
Asp	<i>Leuciscus aspius</i>	
Barramundi	<i>Lates calcarifer</i>	パラムンディ
Bass, Australian	<i>Macquaria novemaculeata</i>	
Bass, largemouth	<i>Micropterus salmoides</i>	オオクチバス
Bass, smallmouth	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス
Bass, striped (landlocked)	<i>Morone saxatilis</i>	ストライプトバス(陸封型)
Bass, white		
Bass, whiterock	<i>Morone saxatilis M. chrysops</i>	ホワイトロックバス
Bluegill	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル
Bowfin	<i>Amia calva</i>	ボウフィン
Carp, common	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ
Carp, grass	<i>Ctenopharyngodon idella</i>	ソウギョ
Catfish, blue	<i>Ictalurus furcatus</i>	ブルーキャットフィッシュ
Catfish, channel	<i>Ictalurus punctatus</i>	アメリカナマズ
Catfish, redbtail (pirarara)	<i>Phractocephalus hemiliopterus</i>	
Catfish, sharptooth	<i>Clarias gariepinus</i>	
Char, Arctic	<i>Salvelinus alpinus</i>	ホッキョクイワナ
Crappie, black	<i>Pomoxis nigromaculatus</i>	
Crappie, white	<i>Pomoxis annularis</i>	
Dolly Varden	<i>Salvelinus malma</i>	オショロコマ
Dorado	<i>Salminus maxillosus</i>	ドラド
Gar, Florida	<i>Lepisosteus platyrhincus</i>	フロリダガー
Gar, shortnose	<i>Lepisosteus platostomus</i>	ショートノーズガー
Grayling	<i>Thymallus thymallus</i>	グレーリング
Grayling, Arctic	<i>Thymallus arcticus</i>	キタカワヒメマス
Kokanee	<i>Oncorhynchus nerka</i>	
Muskellunge	<i>Esox masquinongy</i>	マスケランジ
Nembwe	<i>Serranochromis robustus</i>	
Oscar	<i>Astronotus ocellatus</i>	
Payara	<i>Hydrolicus scomberoides</i>	
Peacock, blackstriped	<i>Cichla intermedia</i>	
Peacock, butterfly	<i>Cichla ocellaris</i>	
Peacock, Orinoco	<i>Cichla orinocensis</i>	
Peacock, speckled	<i>Cichla temensis</i>	
Perch, Nile	<i>Lates niloticus</i>	ナイルパーチ
Perch, white	<i>Morone Americana</i>	
Perch, yellow	<i>Perca flavescens</i>	
Pickereel, chain	<i>Esox niger</i>	
Pike, northern	<i>Esox lucius</i>	ノーザンパイク
Salmon, Atlantic	<i>Salmo salar</i>	タイセイヨウサケ
Salmon, Atlantic (landlocked)	<i>Salmo salar</i>	タイセイヨウサケ(陸封型)
Salmon, Chinook	<i>Oncorhynchus tshawytscha</i>	マスノスケ
Salmon, chum	<i>Oncorhynchus keta</i>	シロザケ
Salmon, coho	<i>Oncorhynchus kisutch</i>	ギンザケ
Salmon, pink	<i>Oncorhynchus gorbuscha</i>	カラフトマス
Salmon, sockeye	<i>Oncorhynchus nerka</i>	ベニザケ
Shad, American	<i>Alosa sapidissima</i>	
Snakehead	<i>Channa</i> spp.	スネークヘッド類
Snapper, Papuan black	<i>Lutjanus goldiei</i>	ウラウチフェダイ
Sorubim	<i>Pseudoplatystoma</i> spp.	
Taimen	<i>Hucho taimen</i>	タイメン
Tigerfish	<i>Hydrocynus vittatus</i>	タイガーフィッシュ
Tigerfish, giant	<i>Hydrocynus goliath</i>	
Trahira, giant	<i>Hoplias macrophthalmus</i>	
Trout, brook	<i>Salvelinus fontinalis</i>	ブルックトラウト
Trout, brown	<i>Salmo trutta</i>	ブラウントラウト
Trout, bull	<i>Salvelinus confluentus</i>	ブルトラウト
Trout, cutthroat	<i>Oncorhynchus clarki</i>	カットスロートトラウト
Trout, golden	<i>Oncorhynchus gubonita</i>	ゴールドデントラウト
Trout, lake	<i>Salvelinus namaycush</i>	レイクトラウト
Trout, rainbow	<i>Oncorhynchus mykiss</i>	ニジマス
Walleye	<i>Stizostedion vitreum</i>	ウォールアイ
Zander	<i>Stizostedion luciopecca</i>	



リリースに関するルールと推奨事項

IGFA は、以下のいずれかが起こった場合、正式にその魚をリリースしたと判断します。

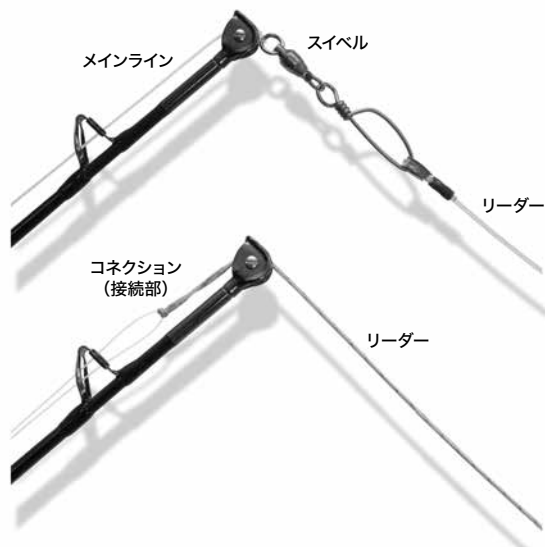
- A. メイトがリーダーを握った。
- B. スイベルがロッドティップに到達した。
- C. リーダーとメインライン/ダブルライン/フライラインの間のコネクション (ノットやスプライスなど) がロッドティップを通過した。



- ライブベイトやデッドベイトを使う場合は、サークルフックの使用が推奨されます。
- フックを安全に、魚にダメージなく外せる場合は、外してリリースしましょう。
- もしフックが外せない場合は、できるだけ近い位置でリーダーを切りましょう。
- リーダーを握って意図的にそれを強く引き、切るのはやめましょう。あご以外の場所にフックがかかっている場合、魚に大きなダメージが起こります。
- ファイトで疲れた魚は、エラに水を通しながら、時間をかけて回復させてやります。
- ネットを使う場合には、結び目のないラバーコーティングされたものを選びましょう。

リーダーの長さはIGFAルールに合致するものとします。10kg(20lb)までのラインでは、リーダーは15フィート(4.57m)を超えることができません。10kg(20lb)を超える太さのラインを使っている場合、リーダーは30フィート(9.14m)を超えることができません。リーダーの長さにはルアーやフックの長さも含まれますので、最後のフックのバンドを末端と考えます。IGFAルールにおいてフライフィッシングのリーダー最大長は規定がありませんが、クラスティベットは最大10kg (20lb)となっていますので、ルアーやエサ釣りのタックルの場合と同様にフライフィッシングの場合、リーダー全長の上限は15フィート(4.57m)とし、最後のフックのバンドを末端と考えます。ショックティベットは12インチ(30.48cm)を超えることが許されず、クラスティベットは少なくとも15インチ(38.10cm)なければなりません。

このルールは、とくにトーナメントにおいて迅速でコンディションの良いリリースを実現してくれることでしょう。このルール採用に伴い、IGFAトラスティは安全で倫理的なリリースにつながる推奨事項を次のように明文化しました。



日本記録の対象魚(ラインクラス部門)

記録申請魚の最低重量は、ラインクラスの1/2以上であることが望ましい。ただし、最大と思われる重量がこの基準に達しない魚種についてはその限りではありません。

●印のついている魚種はラインクラス部門の世界記録認定魚。その他の魚種は、ラインクラス部門の国際魚種に認定されるまでは、オールタックル世界記録部門、オールタックル日本記録のみの対象魚となります。

アカメ、イトウなど、環境省レッドデータブック記載種はリリース前提での申請受付となります。

コクチバスなどの外来魚の申請は外来生物法の規定によって受け付けます。外来生物法では規定していないキャッチ&リリースについては各都道府県でこれを禁じている水域もあり、また、持ち出しを禁止しているケースもありますので各自で確認し、これらに従うことといたします。(タイリクスズキは正式な学名が定まっていますのでGFAのオールタックル部門の規定「魚は認められた学名を代表するものであること」により、従来どおり申請対象外といたします。)
フライフィッシング部門における最大ティベクトクラスは10kgです。

船からの釣り Off Shore

日本名	英名/学名	最大ラインクラス
アイナメ	Greenling, fat / <i>Hexagrammos otaki</i>	10kg(20lb)
アブラソコムツ	Escolar / <i>Lepidocybium flavobrunneum</i>	37kg(80lb)
アラ	Ara / <i>Nippon spinosus</i>	37kg(80lb)
イシガキダイ	Parrotperch, spotted / <i>Oplegnathus punctatus</i>	60kg(130lb)
インダイ	Parrotperch, Japanese / <i>Oplegnathus fasciatus</i>	37kg(80lb)
イシナギ類	Bass, giant sea / <i>Stereolepis</i> spp.	60kg(130lb)
イセゴイ	Tarpon, oxeve / <i>Megalops cyprinoides</i>	10kg(20lb)
● イソマグロ	Tuna, dogtooth / <i>Gymnosarda unicolor</i>	60kg(130lb)
● オオニベ	Meagre, Japanese / <i>Argyrosomus japonica</i>	60kg(130lb)
● オニカマス	Barracuda, great / <i>Sphyræna barracuda</i>	37kg(80lb)
● オヒョウ	Halibut, Pacific / <i>Hippoglossus stenolepis</i>	60kg(130lb)
● カスミアジ	Trevally, bluefin / <i>Caranx melampygus</i>	15kg(30lb)
● カツオ	Tuna, skipjack / <i>Katsuwonus pelamis</i>	24kg(50lb)
カツボレ	Jack, black / <i>Caranx lugubris</i>	15kg(30lb)
● カマスサワラ	Wahoo / <i>Acanthocybium solandri</i>	60kg(130lb)
● カライワシ	Ladyfish, Hawaiian / <i>Elops hawaiiensis</i>	15kg(30lb)
● カンパチ	Amberjack, greater / <i>Seriola dumerili</i>	60kg(130lb)
キチヌ	Seabream, yellowfin / <i>Acanthopagrus latus</i>	10kg(20lb)
● キハダ	Tuna, yellowfin / <i>Thunnus albacares</i>	60kg(130lb)
● ギンガメアジ	Trevally, bigeye / <i>Caranx sexfasciatus</i>	37kg(80lb)
クエ	Grouper, longtooth / <i>Epinephelus bruneus</i>	60kg(130lb)
● クロカジキ	Marlin, blue (Pacific) / <i>Makaira nigricans</i>	60kg(130lb)
クロソイ	Kurosoi/ <i>Sebastes schlegeli</i>	10kg(20lb)
クロダイ	Porgy, black / <i>Acanthopagrus schlegeli</i>	10kg(20lb)
● クロマグロ(太平洋)	Tuna, Pacific bluefin / <i>Thunnus orientalis</i>	60kg(130lb)
クロメジナ	Blackfish, smallscale / <i>Girella melanichthys</i>	15kg(30lb)
コクハンアラ	Coral grouper, blacksaddled / <i>Plectropomus laevis</i>	60kg(130lb)
サワラ	Mackerel, Japanese Spanish / <i>Scomberomorus niphonius</i>	37kg(80lb)
● シイラ	Dolphinfish / <i>Coryphaena hippurus</i>	37kg(80lb)
シマアジ	Trevally, white / <i>Pseudocaranx dentex</i>	37kg(80lb)
● シロカジキ	Marlin, black / <i>Makaira indica</i>	60kg(130lb)
● スギ	Cobia / <i>Rachycentron canadum</i>	37kg(80lb)
● スズキ	Seabass, Japanese / <i>Lateolabrax japonicus</i>	60kg(130lb)
● スマ	Kawakawa / <i>Euthynnus affinis</i>	15kg(30lb)
タケノコメバル	Takenokomebaru / <i>Sebastes oblongus</i>	10kg(20lb)
タチウオ類	Hairtail / <i>Trichirus</i> spp.	15kg(30lb)
ツノザメ類	Shark, dogfish / <i>Squalus</i> spp.	24kg(50lb)
● ツムブリ	Runner, rainbow / <i>Elagatis bipinnulata</i>	24kg(50lb)
● ハガツオ	Bonito, Pacific / <i>Sarda orientalis</i>	24kg(50lb)
● バショウカジキ(太平洋)	Sailfish, Pacific / <i>Istiophorus platypterus</i>	60kg(130lb)
ハマフエフキ	Emperor, spangled / <i>Lethrinus nebulosis</i>	37kg(80lb)
バラフエダイ	Snapper, twospot red / <i>Lutjanus bohar</i>	60kg(130lb)
パラムツ	Oilfish / <i>Ruvettus pretiosus</i>	60kg(130lb)
● ヒラスズキ	Seabass, blackfin / <i>Lateolabrax latus</i>	15kg(30lb)
● ヒラマサ	Yellowtail, California / <i>Seriola lalandi dorsalis</i>	60kg(130lb)
ヒラメ	Flounder, olive / <i>Paralichthys olivaceus</i>	15kg(30lb)
● ヒレナガカンパチ	Jack, almaco / <i>Seriola rivoliana</i>	60kg(130lb)
● ピンナガ	Albacore / <i>Thunnus alalunga</i>	37kg(80lb)
● フウライカジキ	Spearfish, shortbill / <i>Tetrapturus angustirostris</i>	37kg(80lb)
● ブリ	Amberjack, Japanese (buri) / <i>Seriola quinqueradiata</i>	60kg(130lb)
ボラ	Mullet, striped / <i>Mugil cephalus</i>	10kg(20lb)
● マカジキ	Marlin, striped / <i>Tetrapturus audax</i>	60kg(130lb)
マゴチ	Flathead, bar-tailed / <i>Platycepharus indicus</i>	10kg(20lb)
● マダイ	Madai / <i>Pagrus major</i>	24kg(50lb)
● マダラ	Cod, Pacific / <i>Gadus macrocephalus</i>	24kg(50lb)
● メカジキ	Swordfish / <i>Xiphias gladius</i>	60kg(130lb)
メジナ	Mejina / <i>Girella punctata</i>	15kg(30lb)
メダイ	Barrelfish, Pacific / <i>Hyperoglyphe japonica</i>	37kg(80lb)
● メバチ(太平洋)	Tuna, bigeye (Pacific) / <i>Thunnus obesus</i>	60kg(130lb)
● ヨコシマサワラ	Mackerel, narrowbarred / <i>Scomberomorus commerson</i>	37kg(80lb)
● ロウニンアジ	Trevally, giant / <i>Scaranx ignobilis</i>	60kg(130lb)

岸(磯)からの釣り Off Shore

日本名	英名/学名	最大ラインクラス
アイナメ	Greenling, fat / <i>Hexagrammos otaki</i>	10kg(20lb)
イシガキダイ	Parrotperch, spotted / <i>Oplegnathus punctatus</i>	60kg(130lb)
インダイ	Parrotperch, Japanese / <i>Oplegnathus fasciatus</i>	37kg(80lb)
イセゴイ	Tarpon, oxeve / <i>Megalops cyprinoides</i>	10kg(20lb)
● イソマグロ	Tuna, dogtooth / <i>Gymnosarda unicolor</i>	60kg(130lb)
● オオニベ	Meagre, Japanese / <i>Argyrosomus japonica</i>	60kg(130lb)
● オニカマス	Barracuda, great / <i>Sphyræna barracuda</i>	37kg(80lb)
● カスミアジ	Trevally, bluefin / <i>Caranx melampygus</i>	15kg(30lb)
● カツオ	Tuna, skipjack / <i>Katsuwonus pelamis</i>	24kg(50lb)
カツボレ	Jack, black / <i>Caranx lugubris</i>	15kg(30lb)
● カライワシ	Ladyfish, Hawaiian / <i>Elops hawaiiensis</i>	15kg(30lb)
● カンパチ	Amberjack, greater / <i>Seriola dumerili</i>	60kg(130lb)
キチヌ	Seabream, yellowfin / <i>Acanthopagrus latus</i>	10kg(20lb)
● キハダ	Tuna, yellowfin / <i>Thunnus albacares</i>	60kg(130lb)
● ギンガメアジ	Trevally, bigeye / <i>Caranx sexfasciatus</i>	37kg(80lb)
クエ	Grouper, longtooth / <i>Epinephelus bruneus</i>	60kg(130lb)
クロソイ	Kurosoi/ <i>Sebastes schlegeli</i>	10kg(20lb)
クロダイ	Porgy, black / <i>Acanthopagrus schlegeli</i>	10kg(20lb)
クロメジナ	Blackfish, smallscale / <i>Girella melanichthys</i>	15kg(30lb)
コクハンアラ	Coral grouper, blacksaddled / <i>Plectropomus laevis</i>	60kg(130lb)
サワラ	Mackerel, Japanese Spanish / <i>Scomberomorus niphonius</i>	37kg(80lb)
● シイラ	Dolphinfish / <i>Coryphaena hippurus</i>	37kg(80lb)
シマアジ	Trevally, white / <i>Pseudocaranx dentex</i>	37kg(80lb)
● スズキ	Seabass, Japanese / <i>Lateolabrax japonicus</i>	60kg(130lb)
● スマ	Kawakawa / <i>Euthynnus affinis</i>	15kg(30lb)
タケノコメバル	Takenokomebaru / <i>Sebastes oblongus</i>	10kg(20lb)
タチウオ類	Hairtail / <i>Trichirus</i> spp.	15kg(30lb)
● ツムブリ	Runner, rainbow / <i>Elagatis bipinnulata</i>	24kg(50lb)
ハマフエフキ	Emperor, spangled / <i>Lethrinus nebulosis</i>	37kg(80lb)
バラフエダイ	Snapper, twospot red / <i>Lutjanus bohar</i>	60kg(130lb)
● ヒラスズキ	Seabass, blackfin / <i>Lateolabrax latus</i>	15kg(30lb)
● ヒラマサ	Yellowtail, California / <i>Seriola lalandi dorsalis</i>	60kg(130lb)
ヒラメ	Flounder, olive / <i>Paralichthys olivaceus</i>	15kg(30lb)
● ヒレナガカンパチ	Jack, almaco / <i>Seriola rivoliana</i>	60kg(130lb)
● ブリ	Amberjack, Japanese (buri) / <i>Seriola quinqueradiata</i>	60kg(130lb)
ボラ	Mullet, striped / <i>Mugil cephalus</i>	10kg(20lb)
マゴチ	Flathead, bar-tailed / <i>Platycepharus indicus</i>	10kg(20lb)
● マダイ	Madai / <i>Pagrus major</i>	24kg(50lb)
メジナ	Mejina / <i>Girella punctata</i>	15kg(30lb)
● ヨコシマサワラ	Mackerel, narrowbarred / <i>Scomberomorus commerson</i>	37kg(80lb)
● ロウニンアジ	Trevally, giant / <i>Scaranx ignobilis</i>	60kg(130lb)

淡水の釣り Freshwater

日本名	英名/学名	最大ラインクラス
アカメ	Lates, Japanese(akame) / <i>Lates japonicus</i>	37kg(80lb)
アマゴ(サツキマス)	Trout, red-spotted masu / <i>Onchorhynchus masou macrostomus</i>	10kg(20lb)
イトウ	Huchen, Japanese / <i>Hucho perryi</i>	24kg(50lb)
イワナ(アメマス)	Char, whitespotted / <i>Salveninus leucomaenis</i>	10kg(20lb)
● オオクチバス	Bass, largemouth / <i>Micropterus salmoides</i>	10kg(20lb)
● カムルチー(タイワンジョウ)	Snakehead / <i>Channa</i> spp.	24kg(50lb)
● カラフトマス	Salmon, pink / <i>Oncorhynchus gorbuscha</i>	15kg(30lb)
● コイ	Carp, common / <i>Cyprinus carpio</i>	24kg(50lb)
コウライニゴイ	Barbel,steed / <i>Hemibarbus lebo</i>	10kg(20lb)
● シロザケ	Salmon, chum / <i>Oncorhynchus keta</i>	24kg(50lb)
● ソウギョ	Carp, grass / <i>Ctenopharyngodon idellus</i>	37kg(80lb)
ナマズ	Catfish, amur / <i>Silurus asotus</i>	10kg(20lb)
ニゴイ	Nigoi / <i>Hemibarbus barbus</i>	10kg(20lb)
● ニジマス	Trout, rainbow / <i>Oncorhynchus mykiss</i>	24kg(50lb)
ビワコオオナマズ	Catfish, Lake Biwa / <i>Silurus biwaensis</i>	10kg(20lb)
● ブラウントラウト	Trout, brown / <i>Salmo trutta</i>	24kg(50lb)
マルタ	Redfin,Pacific / <i>Tribolodon branditi</i>	10kg(20lb)
ヤマメ(サクラマス)	Trout, masu / <i>Oncorhynchus masou masou</i>	10kg(20lb)

■日本記録対象魚(ラインクラス部門)の追加および参考記録

現時点でJGFA日本記録ラインクラス部門の対象となっていない魚種についても、それらの魚種の記録申請を受け付け、1魚種あたりの申請人数が各部門(船釣り、磯釣り、淡水、フライフィッシング)ごとに10人を越えた時点で、**新たなラインクラス部門対象魚として追加するか否かを検討する**。記録申請人数が10人に満たない時点でも、これらの記録は公式に審査され、審査をクリアした段階で参考記録として保存される。(1993年1月1日発効)
〈当面は現行ルールに従うものとするが、JGFA日本記録・ラインクラス部門対象魚の決定は、ルール委員会が検討できることとする〉
(1996年11月5日)

■日本記録「オールタックル部門」

日本領土および専管水域(200カイリ)内で釣られたすべての魚種(正式な学名のつけられているもの)について、「**オールタックル部門**」を設ける。この場合、現在および将来にわたり、ラインクラス部門での最大重量魚は、自動的にオールタックル部門の記録として認定される。
日本記録オールタックル部門の規定は、IGFAルールに準ずるものとする。(1994年1月1日より発効。ただし申請期限は、特別の理由がないかぎり釣った日より30日以内とする。)

J G F A A L L - T A C K L E L E N G T H R E C O R D

JGFA

オールタックル・レングス・レコード

〈日本記録魚種〉

JGFA 日本記録・オールタックル・レングス・レコード対象魚

魚名	初回申請時の最低長(cm)	IGFALレングス部門対象魚	備考
アイナメ	45		JGFA日本記録ラインクラス対象魚(船)
カスミアジ	58	v	〃
カッポレ	60		〃
カツオ	49	v	〃
カンパチ	92	v	〃
キチヌ	45		〃
ギンガメアジ	44	v	〃
クロソイ	40		〃
クロダイ	45		〃
サワラ	80		〃
シマアジ	60		〃
スギ	85	v	〃
スズキ	63	v	〃
スマ	47	v	〃
タケノコメバル	25		〃
ツムブリ	70		〃
ハガツオ	60		〃
ヒラスズキ	47	v	〃
ヒラマサ	80	v	〃
ヒラメ	80		〃
ヒレナガカンパチ	80	v	〃
ピンナガ	61	v	〃
ブリ	80		〃
ボラ	50		〃
マゴチ	50		〃
マダイ	40	v	〃
メダイ	60		〃
ヨコシマサワラ	100	v	〃
ロウニンアジ	76	v	〃
イシダイ	50		JGFA日本記録ラインクラス対象魚(磯)
イシガキダイ	50		〃
イセゴイ	48	v	〃
オオニベ	100	v	〃
クロメジナ	45		〃
コクハンアラ	80		〃
ハマフエフキ	60		〃
バラフエダイ	80		〃
ミナミクロダイ	45		〃

魚名	初回申請時の最低長(cm)	IGFALレングス部門対象魚	備考
メジナ	45		〃
カワハギ	28		JGFA日本記録ラインクラス対象外
シロギス	25		〃
マアジ	45		〃
マサバ	50		〃
ゴマサバ	50		〃
イシガレイ	50		〃
マコガレイ	50		〃
マツダイ	48	v	〃
コシナガ	72	v	〃
アカメ	100		JGFA日本記録ラインクラス対象魚(淡水)
アマゴ(サツキマス)	45		〃
イトウ	80		〃
イwana(アメマス)	45		〃
オオクチバス	45	v	〃
カムルチー	29	v	〃
カラフトマス	39	v	〃
コイ	55	v	〃
コウライニゴイ	45		〃
シロザケ	48	v	〃
ソウギョ	66	v	〃
ナマズ	50		〃
ニゴイ	45		〃
ニジマス	54	v	〃
ビクコオオナマズ	80		〃
ブラウントラウト	51	v	〃
ヤマメ(サクラマス)	45		〃
アユ	28		JGFA日本記録ラインクラス対象外
ヘラブナ(ゲンゴロウブナ)	45		〃
ギンブナ	30		〃
アオウオ	80		〃
ハクレン	70		〃
コクレン	70		〃
ギンザケ	53	v	IGFA世界記録ラインクラス対象魚
ベニザケ	35	v	〃
ブルックトラウト	34	v	〃
レイクトラウト	74	v	〃
マスノスケ	53	v	〃

IGFAオールタックル・レングスレコードとルールは同じです。IGFA専用メジャーを使用して計測した後にリリースが前提。
「IGFA length 部門対象魚」の欄にマークが入っているのは、IGFAオールタックル・レングスレコードの対象魚です。

専用メジャーの購入方法



オールタックル・レングスレコードの申請には専用メジャーが必要です。これ以外で計測しても申請は受け付けられません。

JGFA事務局は、専用メジャーを在庫しており、ホームページからご購入いただけます。代金は送料・税込で6,000円です。

www.jgfa.or.jp/store/index.html

専用メジャーはIGFAから直接購入もできますが、本体価格49.95ドルに消費税、送料、関税、通関手数料などがかかります。

www.store.igfa.org

JGFAへの世界&日本記録申請における注意点

提出が求められるもの

世界記録もしくは日本記録を申請する場合には、以下に挙げるものをJGFA事務局に提出しなければならない。

1 公式申請書(1件の申請に対して1通)

JGFAは会員全員に、公式の記録申請書を配布しているのでこれを使用する。釣行の際には携帯することをお勧めする。(複写して使用しても差し支えない。)

2 ラインサンプル

申請の対象となった魚を釣り上げる時に使用したライン、リーダー等の仕掛け。詳しくは、次ページ「ラインサンプルの提出方法」を参照のこと。

3 記録を証明する写真(数点)

詳しくは、次ページ「記録申請に必要な写真と撮り方」を参照のこと。

申請書への記入について

申請書への記入は幾つかの署名欄を除いて、すべて申請者本人が明確に記入し、提出する際には記入漏れがないか必ず確認すること。

■署名欄について

申請には以下に挙げる署名が必要となる。署名漏れや署名の重複は申請を受理されない場合があるので注意が必要である。

(1) 船を用いた場合

(イ) 船長の署名

(ロ) 乗組員1名の署名

(2) ウエイマスター(計量人)の署名

(3) 計量立ち会い人の署名(申請者、船長、ウエイマスター以外の者)

(4) 現認者(公証人)の署名(現認者とは、最終的に本申請書を正当なものと認めた者)

(5) 上記以外で捕獲を証明できる2名以上の署名

魚の測定について

魚の測定はIGFAルールの方定める諸規則に従い、極めて慎重に行われるべきである。

世界記録の申請期限

アメリカ国内では釣った日から60日以内、その他の水域では釣った日から90日以内にIGFAに受理されなければならない。ただし、オールタックル部門への申請については、要件を満たしていれば90日を過ぎても申請できる。

日本記録の申請期限

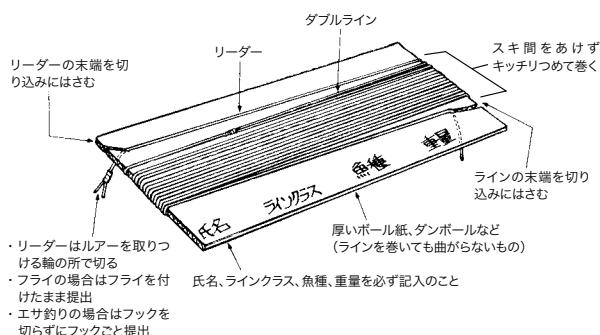
すべての部門において、日本領土及び専管水域(200カイリ)内で釣った魚の記録申請は、釣った日から30日以内にJGFAに受理されなければならない。ただし、離島など交通の便の悪い遠隔地からの申請や、何らかの理由があって申請書の提出が遅れる場合には、その旨を示した文書を提出し、JGFA審査委員会がやむを得ない事由と判断した場合は、30日間の延長が認められる。

世界記録に相当する日本記録の審査、認定について

2011年1月より続いておりました「世界記録に相当する日本記録は、世界記録の結果を待って判断する」という規定を破棄し、世界記録に相当するものはもちろん世界記録に申請いたしますが、それらの日本記録については世界記録の結果を待つことなく別個に審査する方向といたしました。この規定は2017年4月以降の審査から適用しております。ただしフライフィッシングの場合は、世界記録に相当するものは、JGFA事務局ではクラスティベットを切れませんので、従来どおりIGFAに世界記録申請し、その結果を日本記録に反映いたします。

ラインサンプルの提出方法

■記録申請のための提出方法



1 ラインクラス部門(海水/淡水)およびオールタックル部門の記録申請

使用したリーダーとダブルラインの全部、およびダブルラインからリーダー、フックに最も近いシングルのラインを少なくとも15.34m(50フィート)を提

出しなければならない(世界記録にも相当する場合は25m以上)。すべてのラインサンプルは連結されたものを提出しなければならない。

●エサ釣りの場合…釣針はラインサンプルの一部として、付けたまま提出する。

●ルアーフィッシングの場合…使用したルアーは取り外して、ラインのみ提出する。(その代り、ルアーおよびフック配列のわかる写真を提出すること。)

2 フライフィッシングの記録申請

リーダー全体を、フライを付けたまま提出すること。

ただし以前のように、フライラインの先端部を1インチ付ける必要はなし。

3 ラインサンプルの提出方法

それぞれのラインサンプルは、ラインを傷つけることなく、両端どちらからでも容易にほどける方法で提出しなければならない。ラインはそのまま束ねて提出してはいけない。イラストのように、厚紙にラインが重ならないようきちんときれいに巻き付け、氏名、ラインクラス、魚種名、魚の重量を油性ペンで記入のこと。

記録申請に必要な写真と撮り方



①本人が釣ったことを証明する写真

釣り人(本人)及び申請する魚、使用した釣り道具と一緒に写す。背景は乱雑な場所を避ける。魚は尾柄部をヒモで縛り、吊り下げのように手で持つ。手で持てない大きな魚は支柱などに吊り下げる。魚のリリースを考慮した場合は、ヒモで吊るす必要はない。
魚種判定に支障をきたすことがあるので、JGFA記録用紙は魚体に貼りつけない。



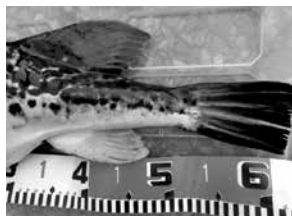
②魚種判定、記録の正確さを証明する写真

魚を地面(平らで魚体のすべてがよく見える場所)に置き、各ヒレは広げて、全体像を真上から写す。この時、魚のすぐ横に目盛が読めるようにメジャーを置くべきである。



③魚の重量を証明する写真

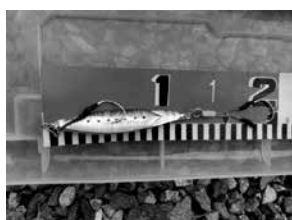
魚をハカリに掛け、重さを量っている様子を写す。数値が読める目盛のクローズアップ写真も撮っておく。ストロボ撮影のときは、反射で目盛が読みづらくなることがあるので、上皿バカリなどの文字盤前面のカバーは外しておくことよい。



④魚種特定のための

魚体クローズアップ写真

魚種の判別に疑問が生じないように、特徴となる部位を拡大して写す。種類の混同しやすい、バス類・イwana類・サーモン類・トラウト類・カジキ類・マグロ類・サメ類・ヒラアジ類については特に重要である。



⑤ルアーのフック配列を証明できる写真

ルアーを使用した場合、ルアーの全体像をフック配列がわかるように写す。

IGFAルールとタイラバ

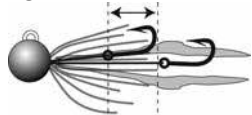
- ①シングルフック2本までの使用が認められます。
- ②ルアーは一つの仕掛けに1個のみ使用できます。複数の取り付けは不可。
- ③フックに取り付けるリードの素材は問いません。
- ④フックの先端にもう一方のフックのアイを通して、2本を連結することは認められます。
- ⑤2本のフックはどちらか大きい方の全長以上、離して取りつけないといけません。但し、フックのアイとアイの間隔は12インチ(30.48cm)以内とします。
- ⑥フックの全部がルアーのネクタイやスカートから出てはいけません。
- ⑦ケンケンバリ(ダブルフック)や3本イカリバリ(トレブルフック、ギャングフック)の使用はできません。

※通称タイラバ&インチュクおよび、市販されている海のトローリングルアーの多くは、化学製品等のスカートが付いています。これらスカート付きのルアーの場合も、必要以上と認識される多くの針を配置してはいけません。魚体に絡みついたり、スレ掛りに頼る不正な針掛りをできる限り排除するためです。もちろん、魚のファイトを妨げ吸収するパーツ(クッションゴム等)をどこかに組み込んではいけません。

タイラバ

【適合】

○ ①



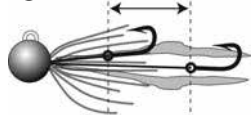
2本のフックは、どちらか大きい方の長さ以上離してとりつけないといけません。

○ ③



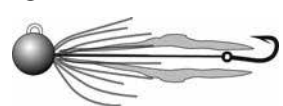
フックの全部がネクタイ、スカート等から出てはいけません。フックの一部がこれらの内側に入っていればよい。

○ ②



フックのアイとアイの間隔は、最大でも12インチ(30.48cm)以内とする。

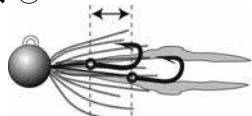
○ ④



フックの全部がネクタイ、スカート等から出てはいけません。フックの一部がこれらの内側に入っていればよい。

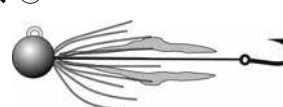
【失格】

× ⑤



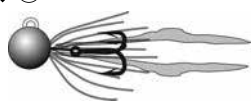
いかなる場合もフック同士が重なってはいけません。

× ⑥



フックがネクタイやスカートより完全に出てはいけません。

× ⑦



ケンケンバリ(ダブルフック)、3本イカリバリ(トレブルフック、ギャングフック)の使用は不可。

JGFA日本記録 〈IGFAルールの使用が前提です〉

部門またはクラブ	使用ルール	対象魚	最大ラインクラス	申請できる魚の最低サイズ	申請期限	男女別	申請書*1	写真*2	船上での計量	使用ライン仕掛け*3
オールタックル日本記録	IGFAルール	日本国内で釣ったすべての魚種	60kg (130lb) 以下	1ポンド (453g) 以上。ただしその魚種の最大と思われるものの1/2以上	釣った日より30日以内	なし	日本記録申請用紙を使用	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	不可	必要
ラインクラス 海水部門・船釣り・岸釣り	IGFAルール	JGFAが指定した魚種 (該当個所を参照)	魚種により違う (該当個所を参照)	1ポンド (453g) 以上	釣った日より30日以内	あり	日本記録申請用紙を使用	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	不可	必要
ラインクラス 淡水部門	IGFAルール	JGFAが指定した魚種 (該当個所を参照)	魚種により違う (該当個所を参照)	1ポンド (453g) 以上	釣った日より30日以内	あり	日本記録申請用紙を使用	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	不可	必要
ティベットクラス (フライ) 部門	IGFAルール	ラインクラス部門 (淡水・海水) に指定されている魚種	10kg (20lb) 以下	1ポンド (453g) 以上	釣った日より30日以内	あり	日本記録申請用紙を使用	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	不可	必要
ジュニア日本記録	IGFAルール	日本国内で釣ったすべての魚種	60kg (130lb) 以下	1ポンド (453g) 以上	釣った日より30日以内	あり (16歳以下)	日本記録申請用紙を使用	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	可	必要
オールタックル・レンジス部門 (長さ記録)	IGFAルール	JGFAが指定した魚種 (該当個所を参照)	60kg (130lb) 以下	魚種によって最低長の設定あり (該当個所を参照)	釣った日より30日以内	なし	日本記録申請用紙を使用	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	可	必要

申請資格：オールタックル＝JGFA会員および非会員、ラインクラス部門＝JGFA会員のみ、ジュニア部門＝ジュニア会員のみ
申請料：サポート会員を除くJGFA会員＝無料、サポート会員＝6,000円、非会員＝10,000円 (入会費用込み)

提出するラインサンプルは、以下の要件を満たすこと。

- ①実際に使用したラインであること。
- ②ダブルライン、ショックリーダーなどを使用した場合、必ずシングルラインと連結した状態で段ボールに巻き提出 (氏名、ラインクラス、魚名、重量を記入)。
- ③提出するシングルライン (道糸) は最低15メートル。世界記録に相当するような場合は25メートル。
- ④使用した仕掛けの実物またはスケッチを提出。

JGFAスペシャルクラブ 〈IGFAルールの使用が前提です〉

クラブ名	対象魚	申請できる魚の最低サイズ	写真	ライン・仕掛けの提出	船上での計量	その他の条件
5ポンドオーバークラブ	クロダイ、メジナ類	5ポンド(2.25kg)以上	必要	不要	可	—
5ポンドオーバークラブ	アイナメ、ソイ類	5ポンド(2.25kg)以上	必要	不要	可	—
10ポンドオーバークラブ	マダイ、ヒラメ	10ポンド(4.50kg)以上	必要	不要	可	—
10ポンドオーバークラブ	イシダイ、イシガキダイ	10ポンド(4.50kg)以上	必要	不要	可	リリース前提
100ポンドオーバークラブ	日本国内で釣ったすべての魚	100ポンド(45.00kg)以上	必要	不要	可	スタンディングファイトのみ
5ポンドバスクラブ	オオクチバス	5ポンド(2.25kg)以上	必要	不要	可	リリース前提
10ポンドシーバスクラブ	スズキ、ヒラスズキ	10ポンド(4.50kg)以上	必要	不要	可	リリース前提
200kgクラブ	日本国内で釣ったすべての魚	200kg以上	必要	不要	不可	—
メーターオーバークラブ	全長1m以上の淡水魚(コイ、ソウギョ、アオウオ、ハクレン、コクレン、カムルチー、ビワコオオナマズ、イトウ、アカメなど)	全長1m以上	必要	不要	可	リリース前提

- 使用ルール：IGFAルール ●最大ラインクラス：60kg(130lb) ●申請期限：釣った日より30日以内 ●男女別：なし
●申請資格：釣った時点ですでに会員であること(サポート会員は除く) ●申請料：無料 ●申請書：日本記録申請用紙を使用
●写真の提出：必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと) ●使用ライン・仕掛けの提出：不要

IGFA 世界記録部門とスペシャルクラブ

IGFA世界記録

部門	使用ルール	対象魚	最大ラインクラス	申請できる魚の最低サイズ	申請期限	男女別	申請書	写真*1	使用ライン仕掛け*3	申請料
オールタックル部門	IGFAルール	世界中のすべての魚	60kg (130lb) 以下	1ポンド (453g) 以上。ただしその魚種の最大と思われるものの1/2以上	制限なし (過去のものでも可)	なし	翻訳サービスあり (無料)	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	必要	\$80 (非IGFA会員) ないし \$50 (IGFA会員)、ただしJGFAがすべて費用負担
ラインクラス部門 海水・淡水	IGFAルール	海水魚：119種 淡水魚：68種	魚種により違う (該当個所を参照)	10kgクラス以下の場合：ラインクラスの1/2以上 10kgクラスを超える場合：ラインクラス以上	釣った日から60日以内 (米国外90日以内)	あり	翻訳サービスあり (無料)	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	必要	\$80 (非IGFA会員) ないし \$50 (IGFA会員)、ただしJGFAがすべて費用負担
ティベットクラス (フライ) 部門 海水・淡水	IGFAルール	海水魚：119種 淡水魚：68種	10kg (20lb) 以下	10kgクラス以下の場合：ラインクラスの1/2以上 10kgクラスを超える場合：ラインクラス以上	釣った日から60日以内 (米国外90日以内)	あり	翻訳サービスあり (無料)	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	必要	\$80 (非IGFA会員) ないし \$50 (IGFA会員)、ただしJGFAがすべて費用負担
ジュニア部門	IGFAルール	海水魚：119種 淡水魚：68種	60kg (130lb) 以下	10kgクラス以下の場合：ラインクラスの1/2以上 10kgクラスを超える場合：ラインクラス以上	釣った日から60日以内 (米国外90日以内)	年齢別あり、男女別あり	翻訳サービスあり (無料)	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	必要	\$80 (非IGFA会員) ないし \$50 (IGFA会員)、ただしJGFAがすべて費用負担
オールタックル・レンジス部門	IGFAルール	海水魚：71種 淡水魚：64種	60kg (130lb) 以下	魚種によって最低長の設定あり (該当個所を参照)	制限なし (過去のものでも可)	なし	翻訳サービスあり (無料)	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	必要	\$80 (非IGFA会員) ないし \$50 (IGFA会員)、ただしJGFAがすべて費用負担

●使用ルール：IGFAルール ●申請料金：\$80 (非IGFA会員) ないし \$50 (IGFA会員)、ただしJGFAがすべて費用負担 ●申請書記入：翻訳サービスあり (無料)
●写真の提出：必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと) ●使用ライン・仕掛けの提出：必要

スペシャルクラブ

部門	対象魚	申請できる魚の最低サイズ	申請料
トロフィーフィッシュ・クラブ	バラマンディ	23kgもしくは125cm以上	\$80 (非IGFA会員) ないし \$50 (IGFA会員)
	ボーンフィッシュ	4.5kgもしくは70cm以上	
	シイラ	23kgもしくは130cm以上	
	ラージマウスバス	4.5kgもしくは60cm以上	
	マスケランジ	13.5kgもしくは130cm以上	
	ルースターフィッシュ	23kgもしくは130cm以上	
	スヌーク	11.5kgもしくは95cm以上	
	スペックルドビーコック	10kgもしくは85cm以上	
	ストライプトバス	23kgもしくは130cm以上	
グランドスラム・クラブ (指定魚種のうち3種を1日で) スーパー・グランドスラム・クラブ (指定魚種のうち4種を1日で) ファンタジースラム・クラブ (指定魚種のうち5種を1日で) ロイヤルスラム・クラブ	バスカテゴリー： ラージマウス、ロック、スモールマウス、ストライプト、スポッテッド、ショール、ホワイト、ホワイトロック ビルフィッシュカテゴリー： クロカジキ (太平洋および大西洋)、シロカジキ、マカジキ、タイセイヨウマカジキ、パショウカジキ (太平洋および大西洋) フウライカジキ、メカジキ インショアカテゴリー： ボーンフィッシュ、スヌーク、ターポン、パーミット オフショアカテゴリー： ビルフィッシュ全種、マグロ類全種、シイラ、カマスサワラ サーモンカテゴリー： アトランティック、キング、レッド、シルバー、チャム、ピンク シャークカテゴリー： ブラックティップ、ブルー、ブル、ハンマーヘッド、マコ、ボービーグル、スレッシャー、タイガー、トーブ トラウトカテゴリー： ブルック、ブラウン、ブル、カットスロート、ゴールデン、レイク、レインボー ツナカテゴリー： メバチ、タイセイヨウマグロ、クロマグロ、イソマグロ、コシナガ、カツオ、ミナミマグロ、キハダ	計測不要 リリース症例	\$80 (非IGFA会員) ないし \$50 (IGFA会員)
ロイヤルスラム・クラブ	上記各カテゴリーにおいて、指定の全魚種を生涯のうちにキャッチ		\$80 (非IGFA会員) ないし \$50 (IGFA会員)

スペシャルクラブ申請の際にも、IGFAルールが適用されます。申請制限はなく、過去に釣った魚も対象とすることができます。男女のカテゴリーは設定されていません。写真の提出が必要です。

LOVE YOUR PARTNERS
(INCLUDING THOSE THAT SWIM)



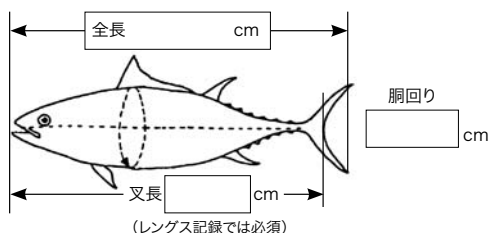
日本記録・世界記録・スペシャルクラブ・フィッシングコンテスト

申請書

提出物はJGFAないしIGFAの所有物となり、返却はいたしませんのでご注意ください。

★申請するカテゴリー（該当する□に✓を入れてください）

- ☐ラインクラス世界記録 ライ ン： _____ lb _____ kg
☐フライロッド世界記録 ティベット： _____ lb _____ kg
☐オールタックル世界記録 ☐オールタックル・レンジス世界記録
☐ラインクラス日本記録 ライ ン： _____ lb _____ kg
☐フライロッド日本記録 ティベット： _____ lb _____ kg
☐オールタックル日本記録 ☐オールタックル・レンジス日本記録
☐ジュニア日本記録 年齢： _____ 歳
☐JGFAスペシャルクラブ： _____ クラブ
☐フィッシングコンテスト



魚 種 名 (標準和名)	
重 量 (小数点第2桁まで)	kg
釣 り 方	☐ 船釣り ☐ 岸釣り ☐ 川・湖の釣り ☐ フライ
釣った日	西 暦 20 年 月 日
ボート名 (使用した場合)	
釣 り 場	できるだけ詳しく
釣った時の 状況・感想	

釣 り 人 氏 名	フリガナ 印
JGFA所属 クラブ	クラブ名 会員番号 ☐ 個人会員
住 所	フリガナ 〒
電話番号	— —
FAX番号	— —
メールアドレス	@
現認者署名 (公証人)	フリガナ 印

ロッド	メーカー名 製品名
ティップ長	リールシートの中心から 竿先まで cm
バット長	リールシートの中心から バットエンドまで cm
リール	メーカー名 製品名
メインライン/ ティベット	メーカー名 製品名 強度表示 lb kg
フライライン	メーカー名 製品名 番手
ダブルライン	☐ 使わない ☐ 使った cm *フライの場合は「使わない」にチェック
リーダー	☐ 使わない ☐ 使った cm *フライの場合はショックティベット
エサ/ルアー/ フライ	名前 フックの数 本 製品(パターン)名

魚種やキズがわからなくなるので、魚体には申請用紙を貼らない	申請の際は、写真のプリントないしメディアを同封してください	ハカリのタイプに制限はありません
	使用したルアーなどもロッドにつけておく	
ストロボ撮影時には、ハカリの透明カバーを外すと反射防止になります 目盛り部分の拡大写真も提出してください		

★日本(世界)記録申請の場合は、上の2枚の他に次のものもご提出いただきます。

- ①魚種判定できる写真(1枚以上)
②ルアーの写真ないしスケッチ(フック配列のわかるもの)

★キャッチを録画したビデオはありますか？

☐ ある ☐ ない

★魚はどうされましたか？

☐ キャッチ&リリース ☐ タグ&リリース ☐ 持って帰った ☐ その他

JGFA事務局

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-22-8 日本フィッシング会館 4F
TEL. 03-6280-3950 FAX. 03-6280-3952

JGFA日本記録、IGFA世界記録などに相当する場合は、使用したラインサンプル、仕掛けなどをご提出いただきます。フライフィッシングの場合、フライを付けたままでリーダー全体を、その他のカテゴリーではダブルラインやリーダー（使用した場合）を接続した状態のメインラインを、少なくとも15m(50フィート)ご提出願います。ルアーを使った場合、その写真も求められます(ない場合はスケッチも可)。

日本記録・世界記録・参考記録に申請する場合は、こちらにも必ずご記入ください。



日本記録・世界記録・参考記録申請書

★JGFA日本記録、IGFA世界記録などに申請される場合は、必ず下記項目すべてにご記入ください。

(該当しない欄についても空欄にせず、「なし」もしくは「使用せず」とご記入ください。)

★世界記録申請魚の最低重量は、ラインクラスが10kg以下の場合はライン強度の半分、10kgを超えるクラスの場合はライン強度相当となっています。日本記録申請の場合は、従来どおり1ポンド(453.59g)以上かつラインクラスの半分以上を目安とします。

追
加
記
入
分

釣り人の英字	釣り人氏名(英字)：
	住所(英字)：
ファイトイングタイム	時間 分
フライロッド	ロッドの全長 cm
	エクステンションバットの長さ (リールの足の中心からバットエンドまで) cm
ギャフあるいはランディングネット	ギャフあるいはネットのタイプ(いずれかに✓) ☐ ギャフ ☐ ランディングネット
	ギャフあるいはネットの全長 m
	ギャフロープの長さ m
ボート (使用した場合)	ボート名：
	メーカー名：
	船の長さ(いずれかに○) m・フィート
	フリガナ 船長氏名
	船長署名：
	船長住所：〒
	フリガナ 乗組員氏名：
	乗組員署名
乗組員住所：〒	

ハカリ	はかった場所：
	ハカリのタイプ：
	製造メーカー名
	保証を受けた最後の日付： 西暦 年 月 日
	ハカリを保証した人あるいは代理店
	はかった人(ウェイマスター) フリガナ 氏名：
計量立会人(釣人、船長、ウェイマスター以外の者) フリガナ 氏名：	署名：
	住所：〒
	住所：〒
	住所：〒
捕獲の証明 (船長以外の者、 できれば2名以上)	フリガナ 氏名：
	住所：〒
	フリガナ 氏名：
	住所：〒
捕獲を証明する人数 人	

申請料

- JGFA会員サポート会員をのぞきすべて無料
- JGFAサポート会員
- 日本記録6000円/件(オールタックルのみ)
(レギュラー会員登録費含む)
 - フィッシングコンテスト500円/件
- 非会員
- オールタックル(日本・世界)記録10000円/件
(入会金およびレギュラー会員登録費含む)
 - フィッシングコンテスト・成人(女子含む)1000円/件
 - フィッシングコンテスト・ジュニア(16歳以下)無料

魚を釣った時点でJGFAサポート会員であった、ないし非会員であった方は、ラインクラス部門の日本記録および参考記録・スペシャルクラブ・ジュニア日本記録には申請できません。